

令和元年度

事業報告書



「マナビィ」
生涯学習マスコットマーク

学び 出合い よろこび

石川県立生涯学習センター

ISHIKAWA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

は じ め に

平成28年12月の中教審答申には「21世紀の社会は知識基盤社会であり、新しい知識・情報・技術が、社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増していく。(中略)とりわけ最近では、第4次産業革命ともいわれる、進化した人工知能が様々な判断を行ったり、身近な物の働きがインターネット経由で最適化されたりする時代の到来が、社会や生活を大きく変えていくとの予想がなされている。“人工知能の急速な進化が、人間の職業を奪うのではないか”“今学校で教えていることは時代が変化したら通用しなくなるのではないか”といった不安の声もあり、それを裏付けるような未来予測も多く発表されている。」といった記述があり、例として「子供たちの65%は将来、今は存在していない職業に就く、今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い、2045年には人工知能が人類を越える「シンギュラリティ」に到達する、などの予測が引用されています。1984年の映画「ターミネーター」では、人工知能に統制されたスカイネットという防衛システムが「自我に目覚める」ことが、物語の発端になるのですが、映画を観たときには空想の世界の出来事としか感じられなかったことが、googleの猫やAlphaGoのニュースを聞くと、現実味を帯びているように感じられてしまいます。人工知能(AI)、ビッグデータ、Internet of Things (IoT)、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、新たに創出されるサービスやビジネスによって、私たちの生活は劇的に便利で快適なものになっていくことが予想される一方、人類がこれまで経験したことのない急激な変化を前に不安を感じることも多いはずです。そしてこのような状況においては、人間であることの強みがどこにあり、学びや仕事どのように向き合っていけばよいか、が改めて問われることになると思います。中教審答申には「人工知能がいかに進化しようとも、それが行っているのは与えられた目的の中での処理である。一方で人間は、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え出すことができる。」「このために必要な力を成長の中で育てているのが、人間の学習である。(中略)特定の既存組織のこれまでの在り方を前提としてどのように生きるかだけでなく、様々な情報や出来事を受け止め、主体的に判断しながら、自分を社会の中でどのように位置付け、社会をどう描くかを考え、他者と一緒に生き、課題を解決していくための力の育成が社会の要請となっている。」とも書かれています。今、我が国は人生100年時代を迎えようとする一方で、超スマート社会(Society 5.0)の実現に向けて技術革新が急速に進んでいます。このような社会の大転換を乗り越え、すべての人が豊かな人生を生きるためには、生涯にわたって主体的に学び続けることが何よりも大切になってきます。

この報告書は、令和元年度における当センターの事業実施状況をまとめたものです。ご高覧のうえ、ご助言ご提言をいただければ幸いです。

結びに、当センターの事業実施・運営にあたり、ご尽力いただきました関係機関並びに関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和2年5月

石川県立生涯学習センター
館長 山越善耀

目 次

I 生涯学習センター	
1 石川県民大学校	
(1) 石川県民大学校のあゆみ	3
(2) 石川県民大学校の入校状況	4
(3) 石川県民大学校の推移	5
2 講座事業	
(1) 石川県民大学校開校30年記念式典並びに平成30年度修了証書交付式、記念講演会	7
(2) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座	8
(3) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会	10
(4) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい講座 ①金沢会場	11
〃 ②能登会場・③加賀会場	12
(5) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい現地講座	13
(6) ふるさとモット学び塾 ふるさと発見出前講座 ①小・中学校	14
〃 ②公民館	15
(7) ふるさとモット学び塾 子どもふるさと博士講座	16
(8) あすなる悠々塾	17
(9) あすなる悠々塾講師養成研修	19
(10) 人権講演会	20
(11) 世界理解講座	21
(12) ファミリー・カレッジin本多の森	22
(13) オリンピック・パラリンピック・カレッジin本多の森	23
(14) 兼六ビデオ講座	24
(15) 本多の森シネマアーカイブ	26
(16) 本多の森映画会	27
(17) 夏休み子ども映画会	28
(18) 本多の森キッズシアター	28
3 学習情報・教材提供	
(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)	29
(2) まなびすとルーム	30
(3) 視聴覚ライブラリー	30
(4) 生涯学習センターだより(館報)	31
(5) 県企画展示(マナビィコーナー)	32
4 指導者養成・研修	
(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)	33
(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)	34
(3) ファシリテーター養成講座	35
(4) 市町生涯学習担当者基礎研修	36
(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会	37
5 マナビィフェアin本多の森2019	
6 他の機関・団体との主催・共催事業	
(1) 生涯学習振興県民フォーラム	39
(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修	40
(3) 社会教育主事等フォローアップ研修	41
(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会	42
(5) 視聴覚セミナー	43
(6) 県民映像カレッジ	43
(7) ICT活用講座	44
(8) いしかわビデオ作品コンクール	45
(9) 視聴覚いしかわ(会報)	46
(10) 自主サークル	46
II 生涯学習センター能登分室	
1 講座事業	
(1) ふるさとふれあい能登校講座	47
(2) 能登文化講座	47
(3) 能登の歴史探訪講座	48
(4) 古文書解説講座	48
(5) 能登陶芸教室	49
(6) あすなる悠々塾in能登	49
(7) 能登特別映画会	50
(8) ふるさと文化探究講座	50
(9) 輪島塗沈金教室	51
(10) 夏休み子ども科学教室	51
(11) 夏休み子ども特別映画会	52
(12) 夏休み子ども陶芸教室	52
2 他の機関・団体との共催講座	
(1) フランス料理教室	53
(2) 大人の料理教室	53
(3) サンドブラスト体験教室	54
3 能登分室利用状況	
	55

I 生涯学習センター

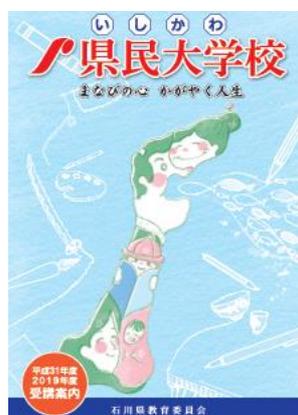
1 石川県民大学校

(1) 石川県民大学校のあゆみ

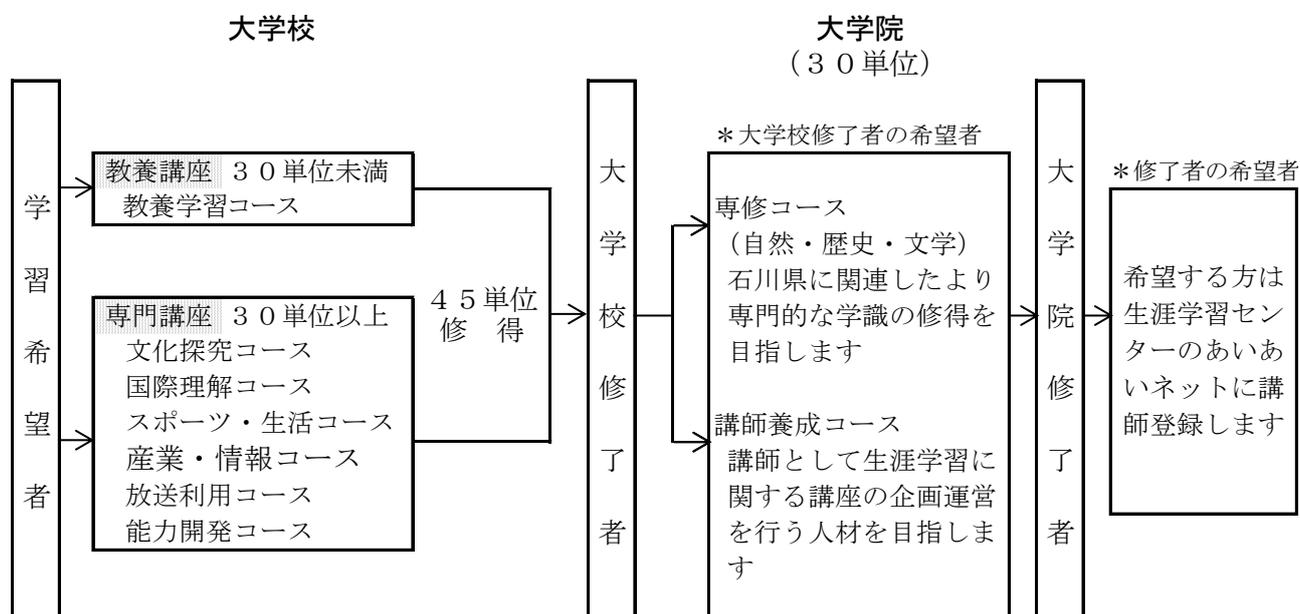
石川県民大学校は平成2年6月に開校し、大学院は平成11年6月に開校。

○講座数の推移

年度	講座数 ()内専門・大学院講座数	年度	講座数 ()内専門・大学院講座数
平成 2年	223 (70)	平成22年	944 (37・4)
平成 3年	274 (78)	平成23年	1,021 (34・4)
平成 4年	290 (89)	平成24年	1,054 (31・4)
平成 5年	313 (98)	平成25年	1,084 (30・4)
平成 6年	321 (103)	平成26年	1,132 (29・4)
平成 7年	331 (111)	平成27年	1,186 (28・4)
平成 8年	325 (107)	平成28年	1,212 (30・4)
平成 9年	332 (117)	平成29年	1,178 (32・4)
平成10年	330 (126)	平成30年	1,206 (32・4)
平成11年	485 (121・4)	令和元年	1,232 (32・4)
平成12年	498 (130・4)		
平成13年	504 (114・4)		
平成14年	582 (114・4)		
平成15年	684 (110・4)		
平成16年	739 (88・4)		
平成17年	815 (54・4)		
平成18年	856 (46・4)		
平成19年	904 (45・4)		
平成20年	897 (39・4)		
平成21年	938 (40・4)		



○石川県民大学校入学から修了までの流れ



(2)石川県民大学校の入校状況(令和元年度)

表1 講座のコース別開設数及び入校者数

講座	コース名	講座数	入校者数
教養	教養学習	1,196	10,793
専門講座	文化探究	9	312
	国際理解	12	147
	スポーツ・生活	5	15
	産業・情報	0	0
	能力開発	3	142
	放送利用	3	12
	計	32	628
大学院	専修自然・歴史・文学	3	21
	講師養成	1	7
合計		1,232	11,449

表2 地区別入校者割合(%)

地区名	入校者割合
加賀市	0.8%
小松市・能美市・能美郡	3.9%
白山市・野々市市	9.9%
金沢市	51.6%
かほく市・河北郡	3.9%
羽咋市・羽咋郡	2.1%
七尾市・鹿島郡	4.2%
輪島市・鳳珠郡	7.5%
珠洲市	1.9%
不明・県外	14.0%
合計	100%

表3 年代別入校者割合(%)

年齢	割合
19歳以下	19.5%
20歳～29歳	0.9%
30歳～39歳	3.6%
40歳～49歳	9.1%
50歳～59歳	7.1%
60歳～69歳	14.8%
70歳～79歳	21.3%
80歳以上	5.2%
不明	18.4%
合計	100%

(3) 石川県民大学校の推移

表1 講座数の推移

(単位:講座)

年 度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
大 学 校	教 養 講 座 計	1,050	1,099	1,154	1,178	1,142	1,170	1,196
	専 門 講 座 計	30	29	28	30	32	32	32
	文化探究コース	7	6	7	7	9	9	9
	国際理解コース	12	12	12	12	12	12	12
	スポーツ・生活コース	4	4	4	5	5	5	5
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0
	能力開発コース	4	4	2	3	3	3	3
	放送利用コース	3	3	3	3	3	3	3
大 学 校 計		1,080	1,128	1,182	1,208	1,174	1,202	1,228
大 学	専修コース	3	3	3	3	3	3	3
	講師養成コース	1	1	1	1	1	1	1
院	石川の博士養成講座 計	4	4	4	4	4	4	4
合 計		1,084	1,132	1,186	1,212	1,178	1,206	1,232

表2 実施機関数及び講座数

(単位:機関・講座)

実 施 機 関	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	講座数							
国 立 機 関	機 関 数	3	2	2	2	2	3	3
	講 座 数	60	35	43	40	35	44	59
県 機 関 計	機 関 数	79	64	46	43	41	41	39
	講 座 数	432	444	409	416	454	499	483
知事部局等	機 関 数	33	30	22	21	23	24	23
	講 座 数	191	206	181	182	220	256	219
県立学校	機 関 数	34	22	12	10	7	6	5
	講 座 数	35	26	13	11	8	6	6
県 教 委	機 関 数	12	12	12	12	11	11	11
	講 座 数	206	212	215	223	226	237	258
市町村教委	機 関 数	58	65	41	41	32	31	34
	講 座 数	230	274	151	165	116	103	130
各 種 法 人	機 関 数	41	44	53	53	51	49	50
	講 座 数	246	260	476	478	466	453	454
各 種 団 体	機 関 数	20	18	17	17	14	14	13
	講 座 数	116	119	107	113	107	107	106
合 計	機 関 数	201	193	159	156	140	138	139
	講 座 数	1,084	1,132	1,186	1,212	1,178	1,206	1,232

表3 入校者数の推移

(単位：人)

年 度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計
大 学 校	教養講座 計	6,859	8,700	8,774	9,893	10,341	10,355	10,793	140,335
	専門講座 計	594	462	545	611	605	575	628	44,957
	文化探究コース	209	111	239	230	266	284	312	13,499
	国際理解コース	179	133	146	135	136	134	147	9,301
	スポーツ・生活コース	33	9	0	20	15	0	15	8,182
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0	4,482
	能力開発コース	172	202	146	205	188	157	142	7,989
	放送利用コース	1	7	14	21	0	0	12	1,504
大 学 校 計		7,453	9,162	9,319	10,504	10,946	10,930	11,421	185,292
大 学 院	専修コース	57	37	44	32	31	14	21	1,748
	講師養成コース	14	6	4	9	7	6	7	408
	石川の博士養成講座 計	71	43	48	41	38	20	28	2,156
合 計		7,524	9,205	9,367	10,545	10,984	10,950	11,449	187,448

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計

表4 修了者数の推移

(令和2年3月末現在)

(単位：人)

年 度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計
大 学 校	教養講座 計	197	308	232	261	186	293	291	4,272
	専門講座 計	388	226	403	429	565	496	482	14,188
	(コース重複)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(593)
	文化探究コース	264	111	187	184	266	239	242	5,472
	国際理解コース	90	71	88	83	113	83	83	2,403
	スポーツ・生活コース	33	9	0	20	15	0	15	1,831
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0	641
	能力開発コース	0	35	128	140	171	174	142	4,386
放送利用コース	1	0	0	2	0	0	0	47	
大 学 校 計		585	534	635	690	751	789	773	18,460
大 学 院	専修コース	30	23	19	21	12	12	13	559
	講師養成コース	5	3	2	6	5	5	5	182
	石川の博士養成講座 計	35	26	21	27	17	17	18	741
合 計		620	560	656	717	768	806	791	19,201

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計

表5 年代別修了生数(令和元年度修了生の内訳)

(単位：人)

年 代	19歳 以下	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	不明	計
大学校	18	5	3	26	32	174	279	73	163	773
大学院	0	0	0	0	0	5	11	2	0	18
人数(人)計	18	5	3	26	32	179	290	75	163	791
割合(%)	2.3	0.6	0.4	3.3	4.0	22.6	36.7	9.5	20.6	100

2 講座事業

(1)石川県民大学校開校30年記念式典並びに平成30年度修了証書交付式、記念講演会

趣旨

平成2年6月に開校した石川県民大学校の開校30周年を記念して、記念講演等の事業を実施し、県民が県民大学校をより深く理解し、さらに生涯学習の場として活用することを促す機会とする。

対象・参加者

平成30年度県民大学校・大学院修了生、一般及び講座実施機関の代表者等 333名

会場

石川県立生涯学習センター第2会議室

期日

令和元年5月25日(土) 13:30～15:50

日程

13:30～14:00	開校30年記念式典ならびに修了証書交付式 平成30年度修了生806名のうち79名(大学校70名、大学院9名)の方に、学長の谷本正憲石川県知事から修了証書が交付された。
14:20～15:50	記念講演 「生物学から見た人間の生き方」と題して、早稲田大学名誉教授 池田清彦氏を講師として記念講演が行われた。

事業の評価(成果・課題)

開校30年記念式典は、石川県議会議長など来賓29名のご臨席のもと、修了生を含む120名が出席して執り行われ、近10年において県民大学校に講座を提供し生涯学習の振興に功績のあった8団体に感謝状が贈呈された。

修了証書交付式には、平成30年度修了生806名のうち79名が出席され、修了生代表の挨拶を通じて、生涯学習の意義を再認識する機会となった。

記念講演は、早稲田大学名誉教授の池田清彦氏を講師に招いて行われた。「とても面白い内容で、癌や病気になる体の仕組みや病院のことがよく分かった。」「生物学、動物学の視点での講義を受けて広い視野で見ることの重要性を学びえたことに感謝しています。」などの感想が寄せられ、受講生に大変好評であった。来年度も魅力ある講師を招き、県民大学校の魅力を広くアピールしていきたい。

(2)石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座

趣 旨

石川県の自然・歴史・文学等に関する専門的な学識の修得を目指すとともに、自らが講師となり生涯学習に関する各種講座を企画運営できる人材を養成する。

対 象

石川県民大学校の修了生

期 間

令和元年5月25日(土)～令和2年1月18日(土)

会 場

石川県立生涯学習センター会議室

定 員

専 修コース 60名(自然・歴史・文学の3講座あわせて)
講師養成コース 15名

修 了

論文や講座企画書の作成を含む所定の単位修得が必要

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
1	5月25日(土) 14:20～15:50	石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演 「生物学から見た人間の生き方」	早稲田大学名誉教授・理学博士 池田 清彦	213人
2	5月31日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「ハンミョウ王国いしかわ」	石川県立大学客員教授 上田 哲行	21人
3	6月 7日(金) 13:30～15:30	専修コース文学 「えんじょもの文学～県外出身・金沢ゆかりの作家～」	金沢大学准教授 飯島 洋	29人
4	6月10日(月) 13:30～15:30	専修コース自然 「豆腐と温泉の化学～石川県の温泉で名物豆腐を作る～」	金沢・金の科学館代表 四ヶ浦 弘	27人
5	6月14日(金) 13:30～15:30	専修コース文学 「泉鏡花『黒百合』をめぐって～街に咲く花～」	金沢学院大学非常勤講師 朝木 敏子	28人
6	6月17日(月) 13:30～15:30	専修コース文学 「映画・ドラマになった文学～室生犀星『あにいもうと』の変容～」	金沢大学准教授 鈴木 暁世	22人
7	6月20日(木) 13:30～15:30	専修コース自然 「砂丘海岸を一変させるオニハマダイコン」	NPO法人石川県自然史センター理事長 高木 政喜	24人
8	6月21日(金) 13:30～15:30	専修コース歴史 「一向一揆の首魁山本家芸について～七日市藩祖と母於古和の事も～」	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	57人
9	6月24日(月) 13:30～15:30	専修コース歴史 「加賀藩士と能」	前田土佐守家資料館学芸員 竹松 幸香	51人
10	6月28日(金) 13:30～15:30	専修コース歴史 「古九谷窯跡の保存・整備を考える～イモムシはイモムシにあらず～」	金沢学院大学名誉教授 小嶋 芳孝	37人
11	7月 1日(月) 13:30～15:30	専修コース自然・歴史・文学 「論文作成講座」	金沢学院大学非常勤講師 朝木 敏子	12人
12	7月 2日(火) 13:30～15:30	専修コース自然 石川県立自然史資料館での学習	石川県立自然史資料館館長 中村 浩二	3人
13	7月 3日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「プレゼンテーションの基本」	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	8人
14	7月 8日(月) 13:30～15:30	専修コース歴史・文学 石川県立図書館でのレファレンス	石川県立図書館司書 水本 京子 他	9人
15	7月10日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「シンプルで伝わりやすいプレゼン資料の作り方」	あぼじら代表 伊藤 雅恵	8人

番号	日時	内容(演題)	講師	参加者数
16	7月17日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「チラシの魅せ方」	銅版画家・文筆家 三宅 エミ	6人
17	7月24日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「スピーチプレゼンテーションの技法」	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	7人
18	9月 6日(金) 13:30～14:30	専修コース文学 試論指導	金沢大学准教授 飯島 洋	2人
19	9月17日(火) 11:00～11:30	専修コース自然 試論指導	NPO法人石川県自然史センター理事長 高木 政喜	1人
20	9月17日(火) 13:30～14:30	専修コース歴史 論文指導	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	2人
21	9月18日(水) 9:30～11:00	専修コース歴史 論文指導	金沢市文化財保護審議会会長 東四柳 史明	2人
22	9月18日(水) 13:30～14:30	専修コース歴史 論文指導	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	2人
23	9月19日(木) 10:00～10:30	専修コース歴史 論文指導	金沢市文化財保護審議会会長 東四柳 史明	1人
24	9月19日(木) 13:30～14:30	専修コース文学 試論指導	金沢大学准教授 鈴木 暁世	2人
25	9月27日(金) 11:00～11:30	専修コース歴史 論文指導	金沢学院大学名誉教授 小嶋 芳孝	1人
26	10月11日(金) 13:30～14:00	専修コース自然 試論指導	NPO法人石川県自然史センター理事長 高木 政喜	1人
27	10月15日(火) 11:30～12:00	専修コース歴史 論文指導	金沢市文化財保護審議会会長 東四柳 史明	1人
28	10月16日(水) 13:30～16:30	講師養成コース 講座企画書指導	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	4人
29	10月18日(金) 13:30～15:00	専修コース文学 試論指導	金沢大学准教授 飯島 洋	2人
30	10月21日(月) 10:00～11:00	専修コース歴史 論文指導	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	2人
31	10月23日(水) 9:30～11:00	専修コース歴史 論文指導	金沢市文化財保護審議会会長 東四柳 史明	2人
32	10月23日(水) 13:30～14:00	専修コース歴史 論文指導	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	1人
33	10月28日(月) 10:00～10:30	専修コース歴史 論文指導	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	1人
34	10月28日(月) 13:30～14:00	専修コース歴史 論文指導	金沢学院大学名誉教授 小嶋 芳孝	1人
35	10月28日(月) 14:30～15:00 16:00～16:30	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 鈴木 暁世	2人
36	11月20日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 企画講座発表	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	5人
37	1月18日(土) 13:30～15:40	「石川の博士」養成講座 論文発表会 記念講演「祖父犀星のエピソード」	室生犀星記念館名誉館長 室生 洲々子	66人
合 計				663人

※1～10及び37の講座については、一般の方に開放している講座

事業の評価(成果・課題)

講師による懇切・丁寧な論文等の指導により、修了生のべ18名の研究成果を「石川の博士論文集」としてまとめることができた。その一方で、大学院の専修コース及び講師養成コースの受講者数が伸び悩んでおり、大学院の新規の受講者の開拓が今後の課題である。

(3) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会

趣 旨

石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了者の代表がその学習成果を発表するとともに、記念講演を通して県民大学校の大学院の一層の充実を図る。

日 時

令和2年1月18日（土） 13:30～15:40

会 場

石川県立生涯学習センター第3会議室

対象・参加者

令和元年度石川県民大学校大学院受講生及び一般 66名

日 程

13:30～14:30	論文発表 ①「桜のコミュニケーションについての理論的考察V」 専修コース自然代表 刈本 博保 ②「能登守護畠山氏とその被官三宅忠俊について」 専修コース歴史代表 三宅 尚彦 ③「随筆『大河の一滴』とその映像表現から見える思想」 専修コース文学代表 猪目 哲也 ④「やさしい手紙講座 楽しもう！手紙の魅力！～ネット社会の今こそ～」 講師養成コース代表 小野 利幸
14:40～15:40	記念講演 「祖父犀星のエピソード」 公益財団法人金沢文化振興財団 室生犀星記念館 名誉館長 室生 洲々子

事業の評価(成果・課題)

今年度の大学院受講者15名から選ばれた代表4名の発表は、内容・話し方・資料提示などがよくまとまっており、参加者からも好評であった。記念講演では、室生犀星記念館の名誉館長室生洲々子氏が祖父犀星の人柄などのエピソードについて、資料を交えながらユーモアあふれる解説をされ、アンケート結果から「犀星に親しみを持つことができた」「臨場感があった」という評価が多数あり、石川県ゆかりの三文豪でもある室生犀星の興味深い一面を知ることができた。

(4) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい講座

趣 旨

子供から大人まで県民一人一人がふるさとへの愛着と誇りを持ち、石川の文化や歴史、自然、産業等について知識を深めることができるよう、金沢・能登・加賀を会場としてふるさと学習の機会を提供する。

対象・定員

金 沢 会 場：一般 130名

能登・加賀会場：一般 100名

日 程

① 金沢会場(石川県立生涯学習センター第1会議室)

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	6月 8日(土) 13:30～15:00	金沢の菓子文化	(株)森八 取締役女将 中宮 紀伊子	113 人
2	7月27日(土) 13:30～15:00	アエノコトとアマメハギ	石川県文化財保護審議会委員(民俗部会長) 小林 忠雄	102 人
3	8月24日(土) 13:30～15:00	ふるさとの想いを織る ～能登上布最後の織元～	(株)山崎麻織物工房 代表取締役 山崎 隆	101 人
4	9月21日(土) 13:30～15:00	漆(JAPAN)を世界へ ～「彦十蒔絵」の目指す場所～	輪島漆再生プロジェクト実行委員会代表 若宮 隆志	83 人
5	9月28日(土) 13:30～15:00	お茶のある生活を ～加賀棒茶の誕生とこれから～	(株)丸八製茶場 代表取締役 丸谷 誠慶	122 人
6	10月12日(土) 13:30～15:00	よみがえった伝統技法 ～九谷焼・赤絵細描～	九谷焼絵付師 福島 武山	37 人
7	10月26日(土) 13:30～15:00	ホントは、加賀友禅が嫌いです。	金沢市加賀友禅プロモーションマネージャー 鶴賀 雄子	79 人
8	11月 1日(金) 13:30～15:00	本能寺の変と加賀・能登	かほく市文化財保護審議会委員 瀬戸 薫	159 人
9	11月23日(土) 13:30～15:00	鉄と日本刀の歴史 ～名刀再現の難題～	刀工(刀匠) 松田 恒治	104 人
10	11月27日(水) 13:30～15:00	新たな挑戦 ～つる幸からせつ理へ～	金澤せつ理 オーナーシェフ 河田 康雄	105 人
合 計				1,005 人

② 能登会場

番号	日時	会場	演題	講師	参加人数
1	6月29日(土) 13:30～15:00	七尾 サンライフプラザ	本能寺の変と加賀・能登	かほく市文化財保護審議会委員 瀬戸 薫	55 人
2	8月10日(土) 13:30～15:00	ラピア鹿島	アエノコトとアマメハギ	石川県文化財保護審議会委員 (民俗部会長) 小林 忠雄	44 人
3	9月 7日(土) 13:30～15:00	のとふれあい 文化センター	能登でつくる ～糶をみらいの食卓へ～	谷川醸造(株) 代表取締役 谷川 貴昭	34 人
合 計					133 人

③ 加賀会場

番号	日時	会場	演題	講師	参加人数
1	6月15日(土) 13:30～15:00	白山市鶴来 総合文化会館 クレイン	加賀守護富樫氏のれきし	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	51 人
2	7月20日(土) 13:30～15:00	加賀市 文化会館	加賀山中と芭蕉 ～芭蕉加賀山中来訪330年～	俳誌「風港」客員同人 山根 公	33 人
3	9月15日(日) 13:30～15:00	こまつ芸術劇場 うらら	北前船からの贈り物 ～ふぐの卵巣の糠漬け～	(株)あら与 代表取締役 荒木 敏明	17 人
合 計					101 人

事業の評価(成果・課題)

金沢会場は、申込総数が1,577名(前年度2,247名)、受講者数が1,005名(前年度1,374名)と、ともに昨年度から減少する結果となった。また、例年申し込みされた方の当日欠席が多いため、今年度から、申込期間を2期に分け、申込日から講座当日までの期間が短くなるようにした。その結果、出席率(受講者数/申込数)は63.7%(前年度61.1%)とわずかながら改善された。

受講者数の減少について原因を探るべくアンケートを実施したところ、「土曜日の午後」に開催する講座やイベントが年々増えており、「他の講座と重なる」という回答を得た。これを受けて、今後は平日開催の割合を増やすなど対応を考えていきたい。

講座の内容については、毎年半数以上の講師を入れ替え、様々なテーマを取り上げているが、アンケート結果を参考に、より受講者の興味・関心に沿ったものになるよう努めたい。今年度については、満足度(満足・やや満足の合計:以下同様)98.9%、興味・関心の高まり97.6%、知識の深まり97.5%、愛着・誇りの深まり94.9%、伝えたい気持ち・おもてなしの心の高まり92.4%と好評で、良い成果を得ることができており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができたと考えられる。

今年度から開催した能登・加賀会場は、申込数・参加人数の総計が各々100名程度にとどまった。次年度は開催地域の生涯学習課や関連機関との連携を十分にし、広報の充実にも努めたい。金沢会場に比べて定員が少ないため、今後は講演だけでなく実演や体験も含めた内容も考えていきたい。

(5) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい現地講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとし、専門家とともに景勝地・史跡・偉人ゆかりの地等を巡回する講座を実施する。

対象・定員

第1・2・3・4・7回：一般40名、 第5回A・B、第6回：一般30名

日 程

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	6月4日(火) 8:00～17:00	「漂着神(ヨリガミ)」の聖地を巡る	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	39人
2	9月4日(水) 8:00～17:00	荒波を越えた男たち ～北前船ゆかりの地を訪ねて～	全国北前船研究会副会長 見附 裕史	39人
3	9月13日(金) 8:00～17:00	芭蕉が歩いた加賀路を訪ねて	金沢学院大学名誉教授 柳澤 良一	40人
4	9月26日(木) 8:30～16:30	前田利家と能登ゆかりの地を訪ねて	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	38人
5	10月6日(日) A) 9:00～12:00 B) 13:30～16:30	金沢の文豪 泉鏡花ゆかりの地を訪ねて	金沢学院大学学長・泉鏡花記念館館長 秋山 稔	28人
6	10月17日(木) 9:00～12:00	能楽ゆかりの地を巡る ～空から謡が降る金沢～	前金沢能楽美術館館長 藤島 秀隆	26人
7	11月8日(金) 8:00～17:00	「漂着神(ヨリガミ)」の聖地を巡る	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	38人
合 計				248人

事業の評価(成果・課題)

バス5回(加賀2・能登3)、徒歩2回(金沢)の計7回の講座は、天候にも恵まれ、事故なく実施できた。

応募数は、516通(前年度604通)と減少した。その分、当選確率が高かった講座もあるが、講座によって応募数に大きな差があった。特に加賀方面の講座は当選確率が36.7%にとどまった(7回の平均56.2%)ため、次年度以降同テーマで再度開講するなど工夫していきたい。

また日程については今年度日曜日に1講座開催したが、直前のキャンセルが相次ぎ、受講者数の減少につながる結果となった。また、休日は観光客も多く訪問先が混雑し行程が長引いてしまうおそれもある為、来年度は全講座平日に開催できるよう努めていきたい。

講座の内容について、アンケートでは「興味が持て、参考になる内容だった」の項目で「とても良かった」と「良かった」の割合が98.8%だった。「普段目にしていても内容的に奥深くはわかっていなかった。」、「個人やツアーでは行かない・行けない場所の説明を受け、理解が深まった。」、「五感で感じる講座は、どれもわかりやすく、印象に残る。」といった感想も多く、現地講座ならではの「直接、見て、聞いて、触れる」という、より深い学びの場を提供することができ、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができた。

(6) ふるさとモット学び塾 ふるさと発見出前講座

趣 旨

子どもから大人まで県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、小・中学校や公民館において石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとした出前講座を実施する。

対 象

小・中学校：児童・生徒 ※小学校は、原則4年生以上

公 民 館：一般

日 程

① 小・中学校(11校)

番号	日 時	学 校(学年)	演 題	講 師	参加人数
1	6月24日(月) 11:30～12:15	小松市立 安宅小学校(5)	石川の海の生き物 ～エビ、カニについて～	日本海甲殻類研究会会長 本尾 洋	57 人
2	7月 2日(火) 10:35～11:25	金沢市立 長坂台小学校(6)	加賀百万石と前田家	金沢観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	74 人
3	9月25日(水) 13:10～13:55	川北町立 川北小学校(6)	加賀百万石と前田家	金沢観光ボランティアガイドまいどさん 中田 廉子	51 人
4	10月 4日(金) 9:30～11:20	金沢市立 三谷小学校(5,6)	じわもんクッキング	北陸学院大学短期大学部教授 新澤 祥恵	22 人
5	10月28日(月) 13:50～15:30	金沢市立 夕日寺小学校(5)	加賀野菜についてもっと知ろう	JA金沢市森本支店 支店長代理 佐野 裕紀香	57 人
6	10月29日(火) 14:00～14:45	能美市立 辰口中央小学校(3)	白山と神社・お寺の関係 仏教の歴史	林西寺 住職 加藤 彰教	34 人
7	12月18日(水) 10:30～12:10	羽咋市立 西北台小学校(5)	もっと知りたい、深めたい！ イカリモンハンミョウと私たちの環境 ～1学期の学習・観察会を振り返って～	いしかわ自然学校インストラクター 西屋 馨	17 人
8	1月15日(水) 13:50～14:25	金沢市立 三馬小学校(4)	伝統工芸「九谷焼」について	九谷焼伝統工芸士 井出 幸子	102 人
9	1月17日(金) 9:30～10:15	金沢市立 大浦小学校(5)	加賀野菜と料理	JA金沢市森本支店 支店長代理 佐野 裕紀香	86 人
10	1月21日(火) 13:45～15:30	小松市立 串小学校(4)	九谷焼の歴史と製作工程	九谷焼伝統工芸士 打田 幸男	45 人
11	1月27日(月) 10:30～11:40	金沢市立 押野小学校(4)	伝統工芸 九谷焼	九谷焼伝統工芸士 井出 幸子	75 人
合計					620 人

② 公民館(8館)

番号	日時	公民館	演題	講師	参加人数
1	7月20日(土) 10:00～12:00	野々市市 野々市公民館	麴を使った加賀野菜の料理	発酵食エキスパート1級 渡瀬 昭子	25人
2	8月26日(月) 10:00～11:30	金沢市 大浦公民館	石川食のブランド化について	石川県農林水産部生産流通課 宮崎 靖弘	25人
3	9月26日(木) 19:00～20:30	金沢市 扇台公民館	金沢素噺子の魅力	金沢素噺子 杵屋 喜三以満	65人
4	11月13日(水) 10:00～11:30	小松市 安宅公民館	郷土の絵図を視る	加南地方史研究会 岡田 孝	18人
5	11月13日(水) 9:00～16:00	野々市市 野々市公民館	ふるさとモット学び塾 「倶利伽羅不動寺・西田幾多 郎記念館見学と佃煮体験」	ほっと石川観光ボランティアガイド 辻 貴弘	18人
6	11月16日(土) 13:00～15:00	能登町 岩井戸公民館	山間地における 地域づくり・人づくり ～神子原米の成功に学ぶ～	妙法寺 住職 高野 誠鮮	28人
7	11月17日(日) 14:00～16:00	羽咋市 栗ノ保公民館	ウクレレで故郷の歌を 弾いてみませんか	ウクレレパイナ金沢代表 藤本 美和	18人
8	2月22日(土) 14:00～15:15	輪島市 鳳至公民館	江戸時代の輪島	加能地域史研究会 左古 隆	44人
合 計					241人

※3月5日実施予定だったかほく市浜北公民館の講座は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から次年度へ延期となった

事業の評価(成果・課題)

地域の子どもを教える先生、地域の学びのニーズを知る公民館職員からは、各地域に密着したテーマに対応できる講師の派遣を求められたが、それぞれに細かく対応することができた。

7年目となる本講座では、継続してお願いしている講師陣のご理解もあり、対象学年に適した講座内容を展開し、「学校・公民館」と「地域の先生」との結びつきを深める役割も担う事ができた。「実技や物を見る、触わる、実際にやってみる」ことを通して、体験型学習の場を提供して下さった講師が多かった。仕事への情熱、生き様等、講師の存在そのものに直接ふれることができるよい機会ともなった。

講座アンケートでは、「とても良かった」と「良かった」の合計が100%と高い評価を受けており、「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という目標を達成することができたと考えている。

実施施設の固定化や同一施設での複数回の実施が見られ、新規実施施設の開拓が課題であり、効果的な広報の模索を続けたい。

(7) ふるさとモット学び塾 子どもふるさと博士講座

趣 旨

子どもを対象とした石川の歴史・文化・産業等についての体験学習を通して、子どもたちのふるさとへの誇りと、郷土への愛着心を育むことを目指す。郷土を代表するテーマを設定し、複数日を設けて多角的に学習できる講座として実施する。

対象・定員

小学校4年生～中学校3年生 50名

日 程

番号	日 時	演 題	講 師	参加人数
1	7月31日(水) 13:00～15:30	金沢城ってどんなお城？ 「お城の役割」について 「古文書を書いてみよう」	城と庭のボランティアガイド 高木 信吉 前田土佐守家資料館学芸員 竹松 幸香	60人
2	8月1日(木) 13:00～14:30	金沢城公園の見どころツアー 「石川門・河北門・菱櫓等」について	金沢城・兼六園管理事務所参与 浜田 哲郎	59人
3	8月6日(火) 13:00～15:40	加賀藩主になろう 「鼠多門・玉泉院丸庭園」 「抹茶体験」 「ペーパークラフト」	金沢城・兼六園管理事務所参与 浜田 哲郎	58人
4	8月8日(木) 13:00～14:30	石垣の博物館・金沢城 「石垣クイズラリー」	金沢城・兼六園研究会 越野 洋 木下 一夫 片岸 恵治	59人
5	8月9日(金) 13:00～14:30	クイズ「金沢城」	生涯学習センター職員	58人
合 計				294人

事業の評価(成果・課題)

実施時期が夏休み中であることに加え、先着順で受講者を決定することにしていたため、募集開始と同時に定員をはるかに超える多くの応募があり、早々に申込みを締め切ることとなった。また、屋外活動の熱中症対策に重点をおいて実施した結果、事故なく実施できた。来年度は、今年度の応募数の多さを勘案し、受講者の決定方法、実施日程の見直しなど工夫していきたい。

講座の内容について、アンケートでは「お城の役割がくわしく知れてよかった。」、「古文書の書き方や折り方が知れて楽しかった。」、「門の仕組みがすごいと思った。」、「石垣の積み方の種類が多くて驚いた。」といった感想も多く、体験的な学びを通して、より深い学びの場を提供することができ、「子どもたちのふるさとへの誇りと、郷土への愛着心を育む」という本講座の趣旨を達成することができた。

(8)あすなろ悠々塾

趣 旨

一般県民の方々が生涯学習活動などを通して学んだ研究成果について、ボランティア講師として企画・発表できる機会を提供し、その知見が広く社会に活かされることを目指している。

参加対象・定員

一般 10名～50名

会 場

石川県立生涯学習センターまなびすとルーム

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月9日(木) 14:00～15:30	人生講座 一流人に学ぶ	西盛 祐吉郎	42人
2	5月14日(火) 14:00～16:00	歴史講座 ピラミッドの真実	堀川 惇夫	44人
3	5月18日(土) 14:00～15:30	歴史講座 金谷御殿と金沢の鹿鳴館と言われた金谷館の 成り立ちと変遷	谷口 和男	41人
4	5月23日(木) 14:00～15:30	文化講座 健康オカリナ初心者教室	上村 彰	12人
5	5月28日(火) 14:00～15:30	健康講座 「傘寿」さんさん(5)	西本 宗之助	26人
6	5月30日(木) 14:00～15:30	健康講座 コミュニケーション上手は聞き上手	岸 弘市	32人
7	6月3日(月) 14:00～15:30	健康講座 元気こっちこい講座 ～より良い時間を過ごすために～	畠 紀子	10人
8	6月11日(火) 14:00～15:30	健康講座 幸福寿命を延ばそう ～ねんねんころりとならないために～	木下 幸子	35人
9	6月18日(火) 14:00～15:30	心理講座 自分をよりよく知って、人と上手く付き合おう！	塚本 茂樹	23人
10	6月22日(土) 14:30～16:00	生活講座 ワイン入門講座	木村 真樹	28人
11	6月26日(水) 14:00～15:30	自然講座 ランの不思議	日尾 章	18人
12	7月2日(火) 14:00～15:30	歴史講座 加賀藩は越前朝倉家重臣と北前船船主の取込み	北川 文男	44人
13	7月9日(火) 14:00～15:30	健康講座 認知症の人とのコミュニケーション法	中田 有博	30人
14	7月19日(金) 14:00～15:30	産業講座 金ナノ粒子の不思議な性質 ～透明な九谷焼赤絵具の開発～	三宅 幹夫	17人
15	7月30日(火) 14:00～15:30	文学講座 放埒な女から野暮な女へ ～川筋景観の変化を文学から見つめる～	中田 廉子	42人
16	8月2日(金) 14:00～15:30	産業講座 金沢港、その歴史的背景、法令順守における現状と展望	末村 春男	39人

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
17	8月 7日(水) 14:00～15:30	歴史講座 はじめての「古文書」講座 ～「村御印」から、加賀百万石を支えた 人たちの思いを感じよう～	鳥居 勝治	14人
18	8月27日(火) 14:00～15:30	産業講座 再生可能エネルギーと省エネルギーの現状	橋本 忠	31人
19	8月31日(土) 都合により変更 →11月16日(土) 14:00～15:30	生活講座 片付け方法と片付けにまつわる建築について	小坂 宗義	23人
20	9月 3日(火) 14:00～15:30	心理講座 今だからできる私らしい生き方へのチャレンジ	山本 紀子	14人
21	9月24日(火) 14:00～15:30	歴史講座 白山麓統治の歴史	山口 茂樹	39人
22	9月30日(月) 14:00～15:30	生活講座 遺言、相続、成年後見制度の活用 ～生涯安心設計～	道下 俊一	38人
23	10月 2日(水) 14:00～15:30	生活講座 色彩とコミュニケーションでいきいきと！	渋谷 夏代	17人
24	10月 8日(火) 14:00～15:30	歴史講座 大坂冬・夏の陣に大活躍した前田利常	後藤 朗	47人
25	10月19日(土) 14:00～15:30	生活講座 文人好み煎茶道を体験する ～茶道を通じ日本文化を学ぶ～	山岸 澄江	10人
26	10月22日(火) 14:00～15:30	自然講座 トキ復活？保護活動から分かること	西屋 馨	14人
27	10月29日(火) 15:00～16:30	健康講座 環境認知度(テーマ2-1:認知症予防はフレイルから)	竹下 知子	28人
28	11月 7日(木) 14:00～15:30	自然講座 日本海の食用エビ・カニ類	本尾 洋	12人
29	11月 9日(土) 14:00～15:30	生活講座 神社って何？金沢市内神社・狛犬巡り	植茶 泰男	31人
合 計				801人

事業の評価(成果・課題)

この事業は、受講者も講師も共に成長していける講座として定着し、今年度は29名の講師による29講座が実施された。

参加人数は延べ801人と昨年度の766人(30講座)を上回ったが、歴史関係講座の人気の高さに加え、コミュニケーション方法や認知症をテーマにした健康関係講座の受講者が増加したのが要因のひとつと推測される。

新規講師が5名加わり、より多くの方に講座の機会を提供できたが、長く講師をされながらも、アンケートの評価が改善されない方への指導やアドバイスは、不十分であった。

新たに講師となるべき人材を確保しながら、全体的に講師としてのスキルを上げていくためのサポートが必要である。

(9) あすなる悠々塾講師養成研修

趣 旨

生涯学習活動などを通して学んだ成果を活かして講師となる「あすなる悠々塾」において、次年度の講師となることができるよう、その資質の向上を目指す。

応募者、修了者

応募者 1 名、修了者 1 名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	履修	参加者
1	7月3日(水) 13:30～15:30	プレゼンテーションの基本	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝	必修	1人
2	7月10日(水) 13:30～15:30	シンプルで伝わりやすいプレゼン資料の作り方	あぼじら 代表 伊藤 雅恵		1人
3	7月17日(水) 13:30～15:30	チラシの魅せ方	銅版画家・文筆家 三宅 エミ		1人
4	7月24日(水) 13:30～15:30	スピーチプレゼンテーションの技法	金城大学短期大学部 教授 岡野 絹枝		1人
5	令和元年度「あすなる悠々塾」聴講 ※ 下記の「あすなる悠々塾」講座⑯～㉒の中から1つ聴講し、評価書を提出			選択	1人
	8月2日(火)	あすなる悠々塾⑯	金沢港、その歴史的背景、法令順守における現状と展望		
	8月7日(水)	〃 ⑰	はじめての「古文書」講座 ～「村御印」から、加賀百万石を支えた人たちの思いを感じよう～		
	8月27日(火)	〃 ⑱	再生可能エネルギーと省エネルギーの現状		
	8月31日(土) 都合により変更 →11月16日(土)	〃 ⑲	片付け方法と片付けにまつわる建築について		
	9月3日(火)	〃 ⑳	今だからできる私らしい生き方へのチャレンジ		
	9月24日(火)	〃 ㉑	白山麓統治の歴史		
	9月30日(月)	〃 ㉒	遺言、相続、成年後見制度の活用 ～生涯安心設計～		
6	11月20日(水)	企画書発表会		必修	1人

事業の評価(成果・課題)

今年度の修了生は1名であった。修了生に研修を知ったきっかけを確認したところ、あいあいネット登録講師からの紹介であったため、現あすなる悠々塾講師にも人材紹介を働きかけていきたい。来年度以降もさらにチラシの配布先を検討し、ポスターの掲示依頼をするなど、より多くの方の目に止まるよう広報を工夫し、応募者を増加させたい。

(10) 人権講演会

趣 旨

社会教育における人権教育活動の一環として、人権尊重の理念について県民の理解を深めるとともに、人権意識を高めていくための学習機会を提供する。

対象・定員

一般及び公民館職員基礎研修受講者 定員 100名

会 場

石川県立生涯学習センター第2会議室

日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
6月25日(火) 13:00~14:30	人権講演会 (演 題) 子どもの自己肯定感を高めるために	元MRO北陸放送 アナウンサー 白崎 あゆみ	72人

(注) 参加人数内訳：一般31人、公民館職員基礎研修38人、学校関係者3人

事業の評価(成果・課題)

講演会は、講師が持参されたテキストの問いにグループワークで取り組む形で進められ、和気藹々とした雰囲気の中で終了した。講師の白崎氏は、子供たちを取り巻く環境がますます複雑化し大規模な教育改革も進展する中で、大人が見守りのコミュニケーションを意識することを通じて子どもの安心感を生み出すことが重要であり、母親がこれまで以上にコミュニケーション能力を高めることが子どもたちのコミュニケーション能力の学びにつながる、と説明され、最後に「思い込み」「決めつけ」を減らし、非効率的な時間を楽しみに変えるポイントを教示された。

今年度は一般参加者が少なかったので、来年度は、テーマ・内容を吟味のうえ一般の聴講者の参加人数を増やすべく企画したい。

(11)世界理解講座

趣 旨

中央で活躍する著名な講師を招いた「世界理解講座特別講演会」や日本人学校経験者による「世界理解講座～世界そのまんま～」を実施し、県民が世界地理を学ぶ機会を提供する。

対象・定員

一般

日 程

日 時	内 容(演 題)	定員	会場	講 師	参加人数
6月23日(日) 14:00～15:30	特別講演会 「オーストラリアにおけるLGBT 政策とツーリズム」	40名	まなびす とルーム	和歌山大学 観光学部 教授、ph. D 吉田 道代	24 人
10月23日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま① 「私を助けてくれたインド Part II」	30名	まなびす とルーム	インド 元ニューデリー日本人学校・校長 澤田 岩男	34 人
10月30日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま② 「ヴェネズエラの人々の暮らし ～ラテンの料理を中心に～」	30名	教室1	ヴェネズエラ 元カラカス日本人学校・教諭宮 永 久美子	34 人
11月5日(火) 14:00～15:30	世界そのまんま③ 「マレーシアにおける多文化共 生」	30名	まなびす とルーム	マレーシア 前ペナン日本人学校・教諭 田畑 良夏	30 人
11月6日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま④ 「オーストラリア20年の変化 ～暮らしの変化を中心に～」	30名	まなびす とルーム	オーストラリア 元シドニー日本人学校・教諭松 浦 直裕	30 人
11月13日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま⑤ 「チェコの古き良き伝統文化」	30名	まなびす とルーム	チェコ 元プラハ日本人学校・教諭 野村 泰裕	30 人
				計	182 人

事業の評価(成果・課題)

「特別講演会」では、オーストラリア研究を行っている和歌山大学教授の吉田道代氏を招いて実施した。高齢者には難しい内容だったようで、例年に比べ受講者が少なかった。「世界そのまんま」は、インド、ヴェネズエラ、マレーシア、オーストラリア、チェコで実施した。ドイツに変えて新たにマレーシアを加えて実施した。マレーシアの講師は、平成30年3月に帰国したばかりで最新のマレーシア事情を紹介することができ、大変好評であった。今年度ヴェネズエラの講座で演題と内容がやや乖離することがあり、受講者からも多少意見があったので来年度はそのようなことがないようにしたい。来年度は2ヶ国変更し、インド、ヴェネズエラに変えてシンガポールとフィリピンを加えて実施する予定である。

(12)ファミリー・カレッジ in 本多の森

趣 旨

主に30歳代から40歳代の子育て世代を対象に、子どもを含むファミリー層の生涯学習に対する意欲を引き出し、全ての世代を通じた生涯学習の推進を図る。

会 場

石川県立生涯学習センター会議室、まなびすとルーム

日 程

	日 時	対象・定員	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	4月27日(土) 13:30~15:00	小学生30名 と その保護者	「楽しいバトントワリング教室」	石川県バトン協会理事長 島田 久仁子	24 組 53 人
2	6月30日(日) 13:30~15:00	一般400名	「日本の城の魅力を探る ~金沢城 を中心に~」	俳優・気象予報士 石原 良純	547 人
3	8月3日(土) 13:30~15:00	小学生と その保護者 50組	「OEKによる気軽にクラシック♪」	オーケストラアンサンブル金沢 弦楽四重奏	75 組 188 人
4	10月20日(日) 13:30~15:00	小学生と その保護者 20組	「岩石からキラキラ光るキレイな結晶 を取り出そう」	星稜高等学校教諭 涌島 英揮	27 組 54 人
5	2月1日(土) 13:30~15:00	小学生と その保護者 100組	「Let's sing and dance with Eric! ~エリックと歌って踊って!~2020」	ミュージシャン エリック・ジェイコブセン	85 組 199 人
合 計					1,041 人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、小学生とその保護者を対象としたワークショップ型講演会を4回、講演会を1回実施した。中央の著名講師は石原良純氏とエリック・ジェイコブセン氏の2名であったが、総受講者数を昨年度の769名から1,041名へと大幅に増やすことができた。地元の講師の発掘にも努め、島田氏、涌島氏、OEKの講座には、予想を大幅に上回る応募があった。今後も魅力ある地元講師の発掘に努めたい。実験や実技指導を伴う講座は、講師が指導できる人数に合わせて定員を少なめに設定せざるを得ず、応募者の一部しか受講できなくなることが課題である。

(13) オリンピック・パラリンピック・カレッジ in 本多の森

趣 旨

幅広い年齢層を対象にオリンピック・パラリンピックで活躍したアスリートを講師とする講演会や写真展を開催し、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図る。

①講演会

対 象

一般 200名

会 場

石川県立生涯学習センター第1会議室

日 程

日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
11月 2日(土) 14:00~15:30	「私のバレーボール人生」	ロンドンオリンピック銅メダリスト 元女子バレーボール日本代表 狩野 舞子 聞き役 北陸放送キャスター 松村 玲郎	179人

②オリンピック・パラリンピック写真展

日 程

日 時	内 容	場 所
10月25日(金)~ 11月2日(土) 9:00~18:00	2016リオオリンピック・パラリンピック（レスリング、柔道、卓球、ボッチャなど）2018ピョンチャンパラリンピック（アルペンスキーなど）で活躍したアスリートの写真を展示	センター ロビー1階
1月4日(土)~ 1月27日(月) 9:00~18:00	2016リオオリンピック・パラリンピック（レスリング、柔道、水泳、フェンシング、ボッチャなど）2018ピョンチャンパラリンピック（アルペンスキーなど）で活躍したアスリートの写真を展示	まなびすと ルーム

事業の評価(成果・課題)

今年度は、石川県ゆかりの狩野舞子氏を招き、オリンピックやバレーボールの魅力などを松村キャスターとのトークショーという形式で語っていただいた。新聞、テレビ等で広報をすると同時に県バレーボール協会にも協力いただき、当日は県内の中学・高校のバレー部員などを含め179名が参加した。参加者のアンケートでは「バレーボールは、思いやりのスポーツであることがわかった」「今後のプレーに活かしていきたい」「2020年のオリンピックが楽しみだ」などの感想が多く好評だった。また、今年度は写真展を2回行い、石川県出身の川井選手、松本選手をはじめ、オリンピック・パラリンピックで活躍した選手の躍動感あふれる写真を展示し、来場者にオリンピック・パラリンピックの魅力を伝えることができた。

(14) 兼六ビデオ講座

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するビデオ教材を活用し、映像を通して本県を含め幅広く我が国の歴史や文化について学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

石川県立生涯学習センター第3会議室

日 程

・ 1期

番号	日 時	内 容(演 題)			参加人数
1	5月29日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科 「きらめくアイデア」 ～モノづくりにかける～ 次代のアーティストを育む ～月浦工房～	いしかわ人国記 ・加藤せむ ・新木栄吉	世界遺産日本編 屋久島Ⅰ・Ⅱ	29人
2	6月12日(水) 14:00～16:00	新素材に挑む ～和紙の新しいカタチ～	・鹿田文平 ・畠山一清	古都奈良の文化財Ⅰ・Ⅱ	29人
3	6月26日(水) 14:00～16:00	古民家を新築で ～温もりの住宅～	・小田吉之丈 ・泉鏡花	白神山地、白川郷・五箇山の合掌造り集落	24人
4	7月17日(水) 14:00～16:00	ペット愛情物語 ～優しさをカタチに～	・本岡三千治 ・前大峰	巖島神社、日光の社寺	26人
5	7月31日(水) 14:00～16:00	和のこころを世界へ ～水引アート～	・草深甚四郎 ・山森隆	姫路城、琉球王国のグスクおよび関連遺産群	33人

・ 2期

番号	日 時	内 容(演 題)			参加人数
1	8月14日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科 「きらめくアイデア」 ～モノづくりにかける～ 日本の美! ～小松イ草拡大プロジェクト～	いしかわ人国記 ・安宅弥吉 ・碓伊之助	世界遺産日本編 紀伊山地の霊場と参詣道Ⅰ・Ⅱ	20人
2	8月28日(水) 14:00～16:00	太古からの贈り物 ～能登の珪藻土～	・森田柿園 ・谷口吉郎	知床Ⅰ・Ⅱ	22人
3	9月18日(水) 14:00～16:00	職人技を暮らしに ～左官で商品開発～	・北出塔次郎 ・島田一良	古都京都の文化財Ⅰ・Ⅱ	22人
4	10月2日(水) 14:00～16:00	世界とコラボ ～加賀縫～	・尾佐竹猛 ・米谷義松 ・高光一也	古都京都の文化財Ⅳ	15人
5	10月16日(水) 14:00～16:00	かがやく磁器 ～白き九谷～	・東方芝山 ・北方心泉	広島平和記念碑(原爆ドーム)、石見銀山遺跡とその文化的景観	24人

・ 3期

番号	日 時	内 容(演 題)		参加人数
1	11月 6日(水) 14:00～16:00	いしかわ大百科 「ふるさとを歩く」 春の奥能登花紀行	映像の世紀 独立の旗の下に 祖国統一に向けて、アジアは苦難の道を歩んだ	12 人
2	11月20日(水) 14:00～16:00	〃 金沢・武家庭園めぐり	〃 勝者の世界分割 東西の冷戦はヤルタ会談から始まった	22 人
3	12月 4日(水) 14:00～16:00	〃 北前船の里・加賀橋立	〃 恐怖の中の平和 東西の首脳は最終兵器・核を背負って対峙した	24 人
4	12月18日(水) 14:00～16:00	〃 鶴仙溪そぞろ歩き	〃 ベトナムの衝撃 アメリカ社会が揺らぎ始めた	22 人
5	1月15日(水) 14:00～16:00	〃 卯辰山歴史散歩	〃 民族の悲劇果てしなく 絶え間ない戦火、さまよう民の慟哭があった	20 人
1期から3期までの合計				344 人

事業の評価(成果・課題)

今年度も3期に分け、それぞれテーマを変えて開講した。

県民大学校放送利用講座として放映された「いしかわ大百科」から「きらめくアイデア～モノづくりにかける～」 「ふるさとを歩く」シリーズを上映した。

また同じく県民大学校放送利用講座として放送されていた、石川の偉人たちを取り上げた「いしかわ人国記」を、1期・2期に上映した。

いずれの作品も、石川県の歴史・文化を学び、郷土についてより深く知りたいという県民のニーズに十分応え得る内容であり、受講生からも好評であった。

また、1期・2期では「世界遺産日本編」を上映した。日本が世界に誇る世界遺産について、わかりやすく学ぶことができたという好評であった。

3期では「映像の世紀」を上映した。初めて「動く映像」として記録された20世紀の歴史をくわしく知ることができたと好評であった。

いずれも解説を加えることでより理解しやすくなっており、これもこの講座が好評である一因となっている。

当センター視聴覚ライブラリーでは良質の映像教材を数多く所蔵しており、今後もこれらの教材を活用した学習機会の提供は重要であると考えている。

(15) 本多の森シネマアーカイブ

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するVHSビデオの貴重な映像教材を活用し、過去の自然、文化、歴史、人権、芸術等を学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 30名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	8月19日(月) 14:00～15:30	①その時歴史が動いた 幕末編1 志ある者よ 立ち上がれ ～獄中の出会いが生んだ吉田松陰の思想～ ②学問と情熱 第6巻 内藤湖南 森深く 日に新たなり	20 人
2	9月30日(月) 14:00～15:30	①その時歴史が動いた 幕末編2 幕末 京都炎上 ～長州・久坂玄端、志に散る～ ②学問と情熱 第7巻 伊能忠敬 羅針の先にみた日本	11 人
3	11月1日(金) 14:00～15:30	①その時歴史が動いた 幕末編3 奇兵隊 決起せよ！ ～高杉晋作挙兵の時～ ②学問と情熱 第8巻 森 銑三 知は市井に在り	12 人
4	11月25日(月) 14:00～15:30	①その時歴史が動いた 幕末編4 坂本龍馬 幕末の日本を動かす ～薩長同盟成立の時～ ②学問と情熱 第9巻 柳田国男 民俗の心を探る旅	19 人
5	12月9日(月) 14:00～15:30	①その時歴史が動いた 幕末編5 新撰組 鳥羽伏見に散る ～旧幕府軍大敗北の真相～ ②学問と情熱 第10巻 新島 襄 "Ask and ye shall receive"	12 人
合 計			74 人

事業の評価(成果・課題)

過去の記録や歴史資料など貴重な映像を県民の方々に見ていただけた。他では見る機会が少ない映像の数々であり、貴重な体験をしていただけたと思う。

当センター視聴覚ライブラリーでは、今後もこのようなVHSテープを大切に保管し、貴重な映像を後世に伝えていきたいと考えている。

(16)本多の森映画会

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリー所蔵の視聴覚教材を活用し、名作映画等を上映することによって、県民に生涯学習の機会を提供するとともに、視聴覚教材の貸出増を図る。

対象・定員

一般県民 60名

会 場

石川県立生涯学習センター第3会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	11月2日(土) 10:00~12:00	「えちてつ物語」(第1回上映)	37 人
2	11月2日(土) 14:00~16:00	「えちてつ物語」(第2回上映)	28 人
3	1月26日(日) 14:00~15:40	「赤い襷」	73 人
合 計			138 人

事業の評価(成果・課題)

11月は、お笑いタレントを目指し上京した女性が、故郷の福井に戻り、えちぜん鉄道のアテンダントとして新しい道を歩みだし、家族との絆を取り戻していく作品、1月は、明治初期に、フランス人指導者のもと富岡製糸場で新たな時代を切り開いた女性たちの姿を描く歴史ドラマの作品を取り上げた。

今年度は、ミュージアムウィーク期間中もしくはその前後の日曜・祝日に開催したが、メインターゲットの中老年世代に好評で、継続して映画上映会の実施を望む声も多く聞かれた。今後も、より利用者が参加しやすい環境での上映会を検討したい。

(17) 夏休み子ども映画会

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 各回200名

会 場

石川県立美術館ホール

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	7月29日(月) 14:00～15:30	①「ふるさと再生 日本の昔ばなし」より 三つの斧/猿の婿どの/天狗と盗人 ②「チップとデール」より リスの朝ごはん/リスの冬支度/リスのオモチャ合戦	172 人
2	7月30日(火) 14:00～15:30	③「おしりたんてい」より ププッ ふめつのせつとうだん 前編・後編	170 人
合 計			342 人

事業の評価(成果・課題)

今年度もたくさんの鑑賞申込があり、盛況だった。

臨場感ある大画面での上映は、子どもたちに大変好評であった。また児童クラブ等においては、個人で過ごすことの多い夏休みにおいて、団体行動を行う良い機会となっているようである。

次年度以降も、鑑賞に適した会場の利用を継続し、多くの参加者が鑑賞しやすいように、上映作品の選定や上映方法に工夫を凝らしていきたい。

(18) 本多の森キッズシアター

趣 旨

映画鑑賞を通して幼児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

幼児、小学生及び保護者 各回60名

会 場

石川県立生涯学習センター第3会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	8月5日(月) 10:00～11:30	くるみ割り人形「2014年版」	48 人
2	8月5日(月) 14:00～15:30		31 人
3	8月6日(火) 10:00～11:30	世界名作劇場[完結版]「母をたずねて三千里」	61 人
4	8月6日(火) 14:00～15:30		10 人
合 計			150 人

事業の評価(成果・課題)

例年、夏季休業期間中の行事としてのニーズに合致して、児童クラブ・幼稚園・保育園等の団体を取り込んでいる。今年度は会場を変更して定員を20名増としたが、猛暑のため団体のキャンセルがあり、空席が目立つ上映回もあって、残念であった。

「夏休み子ども映画会」と併せ、休業期間中の子どもたちに良質の映像作品を視聴してもらう機会となっており、次年度以降はより多くの子どもたちに視聴してもらえる環境づくりを検討したい。

3 学習情報・教材提供

(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)

業務内容

県民の多様な生涯学習ニーズに対応した「講座案内」、「講師案内」、「視聴覚教材情報」、「ふるさと情報」、「イベント情報」の提供をインターネット上でやっている。

また、県制作DVD「今蘇る石川の記録映像」の映像配信及び当センター主催の「ふるさとモット学び塾」講座、「いしかわビデオ作品コンクール」優秀作品の動画配信も行っており、幅広く県民の要望に応えるべく、充実した生涯学習情報の提供に努めている。

対 象

一般県民

運 用

サーバーを県庁内ネットワーク管理室に設置し、石川県立生涯学習センターと専用回線で接続して、24時間運用している。

提供情報

<データベース> (令和2年3月31日現在)

区 分	内 容	データベース 保有件数	令和元年度延 べアクセス件数
ふるさと情報	県内の名所・史跡・名物・祭り・観光コース等	2,438	706
視聴覚教材情報	16ミリフィルム・ビデオ・CD・DVD教材	11,813	25,887
イベント情報	県内の各種事業・イベント・催し物等	168	567
講座案内	県内の各種講座・講演会等	1,617	23,995
講師案内	講演会・学習会等の講師や地域の指導者	396	8,262
映 像	今蘇る石川の記録映画	12	279
	ふるさとモット学び塾講座	6	871
	いしかわビデオ作品コンクール優秀作品	2	224
合 計		16,452	60,791

データベース情報アクセス件数の推移 (令和2年3月31日現在)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延べアクセス件数	50,476	52,301	54,096	55,915	60,791

(2) まなびすとルーム

業務内容

ルーム内に、学習スペース・視聴覚ライブラリー・県企画展示コーナー(マナビィコーナー)・生涯学習関係刊行物等の閲覧コーナーを有し、広く県民に対して生涯学習に関する会場の提供・情報提供及び、学習相談、学習成果のPRを行っている。

対象

地域における社会教育関係団体等の職員及び一般県民

開館日・時間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場所

石川県立生涯学習センター2階

(3) 視聴覚ライブラリー

業務内容

視聴覚教材(DVD・CD等)の整備・貸し出しを主な業務とし、映像を通して県民の生涯学習活動の推進を図る。

対象

県内の公民館・学校などの団体
県内在住または在勤の個人の方(高校生以上)

開館日・時間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場所

石川県立生涯学習センター2階

視聴覚教材保有状況

区分	本数	平成30年度末	令和元年度		合計
			購入	寄贈・その他	
16ミリフィルム		1,556 本	本	本	1,556 本
ビデオテープ		5,928			5,928
CD		823		-1	822
DVD		1,933	58	-1 57	2,047

利用状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数
16ミリフィルム	73	2,852	83	2,684	32	784	12	548	17	1,414
ビデオテープ	72	2,999	63	4,443	25	799	28	391	13	252
CD	900	1,895	430	817	376	750	324	466	310	714
DVD	3,233	17,362	2,954	12,406	2,505	11,870	2,582	13,036	2,817	11,839

(4) 生涯学習センターだより(館報)

発行日 ・号数	巻 頭 言	「出 会 い」
5月24日 第278号	表題 「人生100年時代における『学び』の 充実に向けて」 執筆者 石川県教育委員会生涯学習課長 清水 茂	表題 「対照的な二人の画家との出会い」 執筆者 石川県立美術館普及課長 二木 伸一郎
11月29日 第279号	表題 「それぞれの学びをめざして」 執筆者 石川県立生涯学習センター館長 平 聖一郎	表題 「夢のありか」 執筆者 平成30年度県民大学校修了生 岡 朝子

(5) 県民企画展示(マナビィコーナー)

趣 旨

当センター内に展示コーナーを設け、生涯学習に取り組む県民の学びの成果を披露する場とする。これにより、生涯学習に取り組む人達のさらなる意欲の向上や、展示発表を交流の場として活用することで、生涯学習に取り組む人の増加を図る。

対 象

一般県民

日 時

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター2階

日 程

番号	日 時	内 容	資料提供・展示協力
1	4月 1日(日)～ 4月30日(火) 9:00～18:00	くらしのしむ裂織展	小酒井 裕子
2	5月 2日(木)～ 5月30日(木) 〃	おばあちゃんの陶芸展	山本 寿子
3	6月 2日(日)～ 6月29日(土) 〃	東田 京子 令和からの旅立ち	東田 京子
4	7月 2日(火)～ 7月31日(水) 〃	石川県立九谷焼技術研修所 研修生作品展	石川県立九谷焼技術研修所
5	8月 5日(月)～ 8月25日(日) 〃	てまえみそ展 (障害福祉事業所合同作品展)	特定非営利活動法人 地域支援センターポレポレ
6	9月 1日(日)～ 9月30日(月) 〃	布の絵本展	ボランティアサークル おもちゃ箱
7	10月 2日(水)～10月30日(水) 〃	陶心会作品展	陶心会
8	11月 1日(金)～11月30日(土)	第39回石川県児童・生徒俳句大会入 選作品展	石川県俳文学協会 児童生徒俳句委員会
9	〃	建築模型展	加治 隆俊
10	12月 3日(火)～12月24日(火) 〃	美川刺繍教室作品展	石川県民大学校 美川刺繍教室
11	1月 4日(土)～ 1月27日(月) 〃	オリンピック・パラリンピックのアスリート 写真展	石川県立生涯学習センター 社会教育グループ
12	2月 2日(日)～ 2月29日(土) 〃	雄歩と仲間達の「墨・彩」展	墨雄歩会 泊 雄歩
13	3月 1日(日)～ 3月31日(火) 〃	あじゅ手作り手芸作品展	一般社団法人あじゅ

事業の評価(成果・課題)

個人や団体の創作や学習活動の成果を広く県民に紹介する場として利用されている。今年度は、裂織、絵画、陶芸、手芸、刺繍、俳句、建築模型、水墨画などの展示を紹介できた。どの展示も、作者が楽しみながら意欲的に創作活動に励んでいる様子をうかがい知ることができる力作ばかりで、来館者増や生涯学習の啓発にも繋がった。今後も、県民の方々の生涯学習につながる有益な情報を得られる場となるよう、工夫やPRに努めていきたい。

4 指導者養成・研修

(1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)

趣 旨	生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する基礎的な知識及び技術の修得を図る。
対象・定員	公民館長及び公民館主事等 60名
会 場	石川県立生涯学習センター、石川県地場産業振興センター
日 程	

回	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月6日(木) 10:00～12:00	生涯学習・社会教育施設の意義と役割	金沢大学 名誉教授 浅野 秀重	37 人
	13:00～13:50	これからの公民館	石川県公民館連合会 会長 関戸 正彦	
	13:50～16:00	県推進事業の概要説明	県教育委員会 生涯学習課 課長補佐(GL) 小山内 裕之	
		実践発表「浦上公民館活動について～里まつりの取り組みについて」	輪島市 浦上公民館 館長 喜田 充	
		実践発表「空海伝説の里 宝立～地域伝承を活かしたまちづくり～」	珠洲市 宝立公民館 館長 民山 猛	
		実践発表「金時草イベントで地域交流！」	金沢市 旭日公民館 館長 林 良雄	
		実践発表「絆 地域・学校・公民館三馬をひとつに」	金沢市 三馬公民館 館長 岩田 時夫	
実践発表「条南公民館活動紹介」	津幡町 条南公民館 館長 細山 勝英			
2	6月18日(火) 10:00～12:00	連携・協働による社会教育の推進(講演)	大分大学 高等教育開発センター 教授 岡田 正彦	17 人
	13:00～16:00	連携・協働による社会教育の推進(ワークショップ)	大分大学 高等教育開発センター 教授 岡田 正彦	
3	6月25日(火) 10:00～12:00	これからの『学び』～コーディネート力向上～	金城大学 社会福祉学部 非常勤講師 今井 和愛	38 人
	13:00～14:30	人権講演会「子どもの自己肯定感を高めるために」	マザーズコーチングスクール 講師 白崎 あゆみ	
	14:40～16:10	公民館での防災の役割	NHK金沢放送局 気象予報士 池津 勝教	
4	7月5日(金) 10:00～12:00	マルっと収まるコミュニケーション～関係構築の基礎からクレーム対応応用まで～	杉原企画 代表 杉原 美佐子	23 人
	13:00～14:30	地域住民が集まる講座作り	NPO法人百万石ワールドカフェ キャリアコンサルタント 邑本 なおみ	
	14:30～16:00	地域を巻き込む情報発信	NPO法人百万石ワールドカフェ 民間コンサルタント 石川 京子	
5	7月25日(木) 10:00～12:00	各地の先進的な公民館の実践事例紹介	富山大学地域連携推進機構 教授 藤田 公仁子	36 人
	13:00～16:00	各地の先進的な公民館の実践事例紹介(ワークショップ)		
合 計				151 人

(注) ・6月6日・6月25日・7月25日は必修講座
 ・6月6日は市町生涯学習担当者基礎研修と合同開催。(参加人数は上記以外に担当者基礎研修7人)
 ・6月18日は専門研修及び生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催。
 (参加人数は上記以外に専門研修 7人、市町等担当者研修10人) ※会場:石川県地場産業振興センター
 ・6月25日の「人権講演会」は、一般公開(参加人数は上記以外に一般34人)

事業の評価(成果・課題)

今年度は、新しい講師陣を迎え広報にも力を入れた結果、修了者数は、館長17名、主事等18名、計35名と前年度より増加した。特に、気象予報士による防災講座、webを利用した情報発信の方法など、今日的な話題を盛り込んだ講座は好評であった。来年度も公民館長、主事に求められる基礎知識や技能、今日的な課題に応じた取組などを学べる内容を取り入れ、公民館運営に活かせる講座をめざしたい。

(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する専門的な知識及び技術の修得を図る。

対象・定員

公民館長及び公民館主事等 30名

会 場

石川県立生涯学習センター、石川県地場産業振興センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月17日(金) 10:00~12:00	「生涯学習・社会教育施策、事業の動向」	金沢美術工芸大学 教授 桑村 佐和子	13 人
	13:00~16:00	「地域づくりやまちづくりの実践的な事例とファシリテーション」	金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 准教授 蜂屋 大八	
2	6月18日(火) 10:00~12:00	「連携・協働による社会教育の推進」	大分大学 高等教育開発センター 教授 岡田 正彦	7 人
	13:00~16:00	「連携・協働による社会教育の推進」 (ワークショップ)	大分大学 高等教育開発センター 教授 岡田 正彦	
3	7月18日(木) 10:00~12:00	「生涯学習や社会教育の専門的な知識や動向について」	富山大学 地域連携推進機構 教授 藤田 公仁子	12 人
	13:00~16:00	「学習ニーズや地域課題の把握の方法、事業の企画立案づくり」		
合 計				32 人

(注) ・5月17日、7月18日は必修講座

・6月18日は基礎研修及び専門研修並びに生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催。
(参加人数は上記以外に基礎研修17人、生涯学習・社会教育担当者等研修10人)

※会場:石川県地場産業振興センター

事業の評価(成果・課題)

県内5市町から13人が受講し、今年度2年目に当たる主事5名が修了した。受講者アンケートでは、他の公民館との情報交換ができてよかったとの声があった一方で、公民館の課題とその解決策を考える演習が重複して設定されていたとの指摘があった。参加市町が減少し、受講者が15名程度になっている現状やアンケートで指摘のあった点を踏まえて、研修を単独開催するか他との合同開催とするかを含めて次年度の研修の持ち方を検討したい。

(3)ファシリテーター養成講座

趣 旨

地域や職場等で直面している問題に取り組むため、地域で活動されている方、市町職員、公民館職員、NPO職員にファシリテーターとしての知識及び技能の修得を図る。

参加対象・定員

県・市町職員、公民館職員、NPO職員
【入門編】 40名 【応用編】 30名

会 場

石川県立生涯学習センター会議室、まなびすとルーム

日 程

【入門編】

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	7月 11日 (木) 10:00～16:00	入門講座①	NPO法人NPO政策研究所 理事 谷内 博史	27 人
2	7月 12日 (金) 10:00～16:00	〃 ②	〃	27 人
3	7月 23日 (火) 13:00～16:00	〃 ③	NPO法人百万石ワールドカフェ 監事 西田 禎	26 人
合 計				80 人

【応用編】

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	9月 5日 (木) 10:00～16:00	応用講座①	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	14 人
2	9月 6日 (金) 10:00～16:00	〃 ②	〃	16 人
3	9月 17日 (火) 13:00～16:00	実地体験計画	生涯学習センター職員	14 人
4	9月 18日 (水) ～11月 15日 (金)	実地体験(各自)		14 人
5	11月 28日 (木) 10:00～16:00	講座、修了式	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	13 人
合 計				71 人

事業の評価(成果・課題)

入門編では2年前と比べ受講生が10人程度減少している。原因としては、金沢市、野々市市でも「ファシリテーター養成講座」を実施していることが影響していると考えられる。入門編のアンケート結果でファシリテーターの理解について、「十分満足できた」、「満足できた」と回答した人が合わせて92%となっており大変好評であった。

応用編のアンケート結果では、ファシリテーターの理解について、「十分満足できた」、「満足できた」と回答した人が合わせて85%、講師について、「十分満足できた」、「満足できた」と回答した人が合わせて100%となっており大変好評であった。

受講者の減少が課題となっており、特に応用編では、受講資格を入門編の修了者に限定しているため、一層少なくなっている。ファシリテーションの基本的な講座を受ける機会が増えていることも考慮して、次年度は応用編のみの受講も可とする方向で受講者の増加を図りたい。

(4) 市町生涯学習担当者基礎研修

趣 旨

本年度、市町の生涯学習担当課、市町の生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の職員になった者を対象に、生涯学習に関する行政や事業を推進するうえで必要な基礎的知識の修得を図る。

対象・定員

市町生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の1年目の職員、若しくはそれに準ずる者及び希望者で原則として2日間受講できる者・30名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月6日(木) 10:00~12:00	生涯学習・社会教育の意義と役割	金沢大学 名誉教授 浅野 秀重	7人
	13:00~13:45	これからの公民館	石川県公民館連合会 会長 関戸 正彦	
	13:50~14:20	県推進事業の概要説明	石川県教育委員会生涯学習課 課長補佐(GL) 小山内 裕之	
	14:20~14:40	実践発表「浦上公民館活動について ～里まつりの取り組みについて～」	輪島市浦上公民館 館長 喜田 充	
	14:40~15:00	実践発表「空海伝説の里 宝立～地 域伝承を活かしたまちづくり～」	珠洲市宝立公民館 館長 民山 猛	
	15:00~15:20	実践発表「金時草イベントで地域交 流！」	金沢市旭日公民館 館長 林 良雄	
	15:20~15:40	実践発表「絆 地域・学校・公民館 三 馬をひとつに」	金沢市三馬公民館 館長 岩田 時夫	
15:40~16:00	実践発表「条南公民館活動紹介」	津幡町条南公民館 館長 細山 勝英		
2	6月7日(金) 10:00~12:00	地域の活性化と社会教育の推進	金沢大学 先端科学・地方共創推進機構 准教授 蜂屋 大八	7人
	13:00~16:00	生涯学習の要望と市町担当者の 資質、能力向上	金沢美術工芸大学 教授 桑村 佐和子	
合 計				14人

(注) ・6月6日は公民館職員基礎研修と合同開催(参加人数は、上記以外に公民館職員基礎研修 37人)

事業の評価(成果・課題)

1日目は、公民館職員基礎研修と合同で、生涯学習・社会教育の概要と県内公民館の代表的な実践例を学ぶ講座を実施。2日目の午前は、地域の特性に根ざした地元学の視点を活かした地域づくりについて、午後は、幅広い領域をカバーし多様な人々と関わる生涯学習を担う職員に求められる資質・能力についての講義を受けた。

本講座は新規の生涯学習担当職員を対象としており、生涯学習の理念から実践の具体例、職員の果たすべき役割などを網羅的に学ぶことができ、受講者からは、「大変参考になった。」「興味深い話でこれを生かしていけるようにしたい。」等、実践に役立つ内容であると好評だった。

課題は受講者が少ないことや実施時期が市町の議会日程と重なったことであった。次年度は2日とも公民館職員基礎研修と合同で行うこととし、喫緊のテーマである「地域学校協働活動」の内容も取り入れるなどして、受講者にとってより魅力的な講座となるようにしたい。

(5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会

趣 旨

学習教材として16ミリフィルムの活用を図るとともに、フィルム保全のため正しい映写技術の普及に努める。

対 象

一般県民 随時受付

会 場

石川県立生涯学習センター

内 容

16ミリ発声映写機操作技術認定講習(学科、実技)

講 師

石川県立生涯学習センター職員

事業の評価(成果・課題)

講習日を限定せず、受講希望者の日程に合わせて実施し、映写技術の継承を図っている。今年度は受講希望者がいなかったが、16ミリ映画教材の利用継続のため、今後も講習実施の周知に努めたい。

5 マナビフェア in 本多の森 2019

趣 旨

いしかわ教育ウィーク（11月1日～7日）に合わせ、生涯学習に関する県民の理解を深め、生涯学び続ける気運を高める。

主 催

石川県立生涯学習センター

会 場

石川県立生涯学習センター

内 容

催 事 内 容		日 時	会 場	対象・定員	参加人数
展 示	オリンピック・パラリンピック写真展 トップアスリートの実力体験コーナー 県民大学校実施機関等の紹介コーナーA (新図書館整備推進室、石川県立伝統産業工芸館、石川県民大学校事務局)	10月25日(土) ～11月2日(土) 9:00～18:00	1 階 ロ ビ ー	一 般	2,857 人
	県民大学校実施機関等の紹介コーナーB (石川県立自然史資料館)	10月25日(土) ～11月2日(土) 9:00～18:00	ま な び す と ル ー ム (学習スペース)	一 般	644 人
	第39回石川県児童・生徒俳句大会入選作品展 (石川県俳文学協会児童生徒俳句委員会) 建築模型展(創治郎)	11月1日(金) ～11月2日(土) 9:00～18:00	ま な び す と ル ー ム (マナビコーナー)	一 般	13 人
	石川県民大学校ポスター展 (石川県民大学校事務局)	10月25日(土) ～11月2日(土) 9:00～18:00	中 2 階 通 路	一 般	313 人
実 演	ハンドベル演奏 北陸学院中学校	11月2日(土) 13:45～14:00	第 1 会 議 室	一 般 200名	179 人
	書道パフォーマンス 石川県立金沢伏見高等学校	11月2日(土) 15:45～16:30	1 階 ロ ビ ー	一 般	207 人
い し か 講 わ 座 大 学 校	ふるさとふれあい講座・金沢会場⑧ 「本能寺の変と加賀・能登」 講師:瀬戸 薫	11月1日(金) 13:30～15:00	第 1 会 議 室	一 般 130名	159 人
	オリンピック・パラリンピック・カレッジ in 本多の森 「私のバレーボール人生」 講師:狩野 舞子	11月2日(土) 14:00～15:30	第 1 会 議 室	一 般 200名	179 人
	本多の森シネマアーカイブ③ 「その時歴史が動いた 高杉晋作」 「学問と情熱 森銚三」	11月1日(金) 14:00～15:30	第 3 会 議 室	一 般 30名	12 人
ビ デ 映 上 会 映 会	本多の森映画会① 「えちてつ物語～わたし、故郷に帰ってきました。～」	11月2日(土) 10:00～12:00	第 3 会 議 室	一 般 60名	37 人
	本多の森映画会② 「えちてつ物語～わたし、故郷に帰ってきました。～」	11月2日(土) 14:00～16:00	第 3 会 議 室	一 般 60名	28 人
	SVCビデオ作品上映会 生涯学習センタービデオクラブ	11月2日(土) 10:30～12:00	教 室 1	一 般 20名	27 人
合 計					4,655 人

事業の評価（成果・課題）

9月中旬から行った広報活動や隣接する本多の森ホールのイベントによる相乗効果などで、期間中の入館者数は4,655人となり、館内には活気が溢れ一定の成果があった。今年度は「オリンピック・パラリンピック・カレッジin本多の森」、「トップアスリートの実力体験コーナー」、「書道パフォーマンス」など新たな催事が好評であったが、次年度以降も工夫を凝らして取り組みを継続し、県民の理解を得られるようにしたい。

6 他の機関・団体との主催・共催事業

(1) 生涯学習振興県民フォーラム

趣 旨

県内の生涯学習・社会教育・学校教育等の関係者が集い、「ふるさと教育の可能性をさぐる」をテーマに、実践を交流し、課題と展望を共有して、『第2期石川県の教育振興基本計画』が目指す、学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上を図る契機とするとともに、学校における探究的活動への示唆を得る。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会

対 象

一般県民、県・市町生涯学習・社会教育職員関係者、公民館職員、県立高等学校教員、PTA関係者等

会 場

石川県庁行政庁舎11階 1105会議室

参加人数

77人

日 程

日 時	内 容	講 師 等
1月20日(月) 13:15~13:20	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課長 清水 茂
13:20~13:25	主旨説明	金沢大学名誉教授 浅野 秀重
13:25~14:20	基調講演「ジモトからの学びのプレゼント！新庄・最上ジモト大学の取組み」	山形県最上総合支庁 総務企画部総務課 連携支援室 連携支援主査 坂本 健太郎
14:30~16:00	事例発表	①長野県須坂創成高等学校教諭 塚田 和弘 「地域連携活動での成果と課題」 ②高山市立丹生川中学校教諭 清水 季代 「にゅうかわ学」 ③石川県立七尾高等学校長 山口 和人 「探究的な『ふるさと教育』の推進」
16:05~16:30	パネルディスカッション	コーディネーター 金沢大学名誉教授 浅野 秀重

事業の評価(成果・課題)

基調講演は、山形県の新庄・最上地域における「新庄・最上ジモト大学」が紹介された。この取組みは、高校生を対象に、地元の身近な地域課題・産業・歴史等を学び、地域の未来を担う人材を育成することを目的とした行政主導のプログラムである。官民一体となった「新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム」として運営されていることが特徴であり、「ふるさと教育」の先進事例について学ぶことができた。

事例発表では、中学校・高校それぞれの立場で「地域社会人」を育てる取組みを進めている方々から実践報告や現状分析がなされ、非常に興味深い内容であった。

全体として「学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上を図る契機とする」とともに、学校における探究的活動への示唆を得る。」という趣旨を達成することができたと考えられる。今年度の「ふるさと教育の可能性をさぐる」のテーマは、参加者の多数を占める市町生涯学習・社会教育職員関係者・公民館職員と高等学校関係者の両者が満足できるものであったと思われる。

(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修

趣 旨

中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」の中で、地域における社会教育には、一人一人の生涯にわたる学びを支援し、住民相互のつながりの形成を促進すること、地域の持続的発展を支える取組に資することが、より一層期待されている。そのような方向性を踏まえ、本研修をとおして、さまざまな担い手が連携・協働した社会教育の推進について考えることを目的とする。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会

対 象

市町生涯学習・社会教育担当職員、市町公民館等職員、各市町の社会教育委員

会 場

石川県地場産業振興センター

参加者数

34人 内訳は、生涯学習・社会教育担当職員10人、公民館職員基礎研修17人、公民館職員専門研修7名

期 日

令和元年6月18日(火) 10:00～16:10

日 程

日 時	内 容	講 師
10:00～10:05	開会挨拶	石川県教育委員会事務局生涯学習課 課長 清水 茂
10:05～10:15	趣旨説明	金沢大学名誉教授 浅野 秀重
10:15～12:00	講演「連携・協働による社会教育の推進 - 地域に根ざす公民館実践の視点から -」	大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦
13:00～16:00	ワークショップ「連携・協働による社会教育の推進」	大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦
16:00～16:10	全体講評および閉会挨拶	金沢大学先端科学・社会共創推進機構 准教授 蜂屋 大八

事業の評価(成果・課題)

午前の部では、大分大学高等教育開発センターの岡田正彦教授が「連携・協働による社会教育の推進」をテーマとして地域に根ざす公民館の視点から講演され、社会教育を巡る厳しい状況と求められる取り組みの方向性の観点から、公民館事業には発想の転換が必要であること、地域の取り組みをコーディネートすることが公民館にとっての重要な役割であることなどが語られた。

午後のワークショップでは、グループ内で各人が感じている連携・協働の現状を共有し、その改善策として各人が地域に持ち帰るアイデアを検討した。

アンケート結果に拠れば、講演・ワークショップ共に「有意義だった」と回答した割合が90%を超えており、参加者にとって役立つ内容であったと評価できる。

課題としては、参加者の経験年数や担当業務にかなりのばらつきがあり、協議が円滑に進まないグループがあったことが挙げられる。協議テーマと参加者のキャリアを踏まえて適切にグループ編成を行う必要がある。

(3) 社会教育主事等フォローアップ研修

趣 旨

地域の生涯学習・社会教育の実現の推進において中核的な役割を果たす社会教育主事等の専門知識、技術、実践力の向上を図る。時代の流れに応じた企画力、発信力の向上を図る。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会

対象・定員

社会教育主事、社会教育主事講習修了者、各市町の生涯学習・社会教育行政担当者、生涯学習・社会教育施設等に勤務している者

会 場

石川県立白山青年の家

参加人数

22人

日 程

日 時	内 容	講 師 等
11月29日(金)		
13:30～14:00	開会・オリエンテーション	金沢大学名誉教授 浅野 秀重
13:45～15:15	講義「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について-中央教育審議会答申の説明-」	金沢大学名誉教授 浅野 秀重
15:30～16:00	公民館の実践報告①金沢市立大浦公民館「地元学～公民館で子どもから大人まで歴史を学ぼう～」	金沢市大浦公民館主事 橋爪 佳代子
16:00～16:30	公民館の実践報告②輪島市本郷公民館「沖縄を魅了する本郷地区と青年団」	輪島市本郷公民館主事 中本 恵美
16:30～17:00	公民館の実践報告③能登町上町公民館「宝暦歴史紀行～『宝暦の杉の物語』を通して～」	能登町上町公民館主事 中 玲子
17:00～17:30	公民館の実践報告④福井市円山公民館「円山CMB(青年グループ)との地域づくり」	福井市円山公民館主事 松井 章江
11月30日(土)		
9:00～11:25	ラフターヨガ(笑いヨガ)	金沢わくわく大楽塾 寺田 美穂
11:15～11:25	閉会	石川県教育委員会生涯学習課 課長補佐 小山内 裕之

事業の評価(成果・課題)

講義では、中央教育審議会答申についての分かりやすい解説があり、「人口減少の中での社会教育施設を目指すものは何かを考えることができました」などの感想が寄せられ好評であった。公民館の実践報告では金沢市、輪島市、能登町、福井市の報告があり、「参考になりました。」などの感想が寄せられた。2日目のワークショップは笑いヨガについて体験したが、「今日のヨガ教室は参考になった。」などの感想が寄せられ大変好評であった。受講者数は、形態が同じだった一昨年より更に減少した。何が原因が分析し、受講者増になるよう魅力的な内容を検討したい。

(4) 教育事務所管内別生涯学習研修会

趣 旨

教育事務所管内ごとに研修の機会を設け、市町の生涯学習担当者、公民館職員等生涯学習行政関係者の実務能力等の力量を高め、県内の生涯学習の振興に寄与する。

主 催

金沢大学社会教育研究振興会

共 催

石川県教育委員会、各市町教育委員会

対 象

市町生涯学習担当課職員、公民館職員等

日 程

教 育 事 務 所	参加人数	日 時	内 容 等
金 沢	24 人	11月19日(火) 15:30～16:50	趣 旨 地域づくりに貢献すべくこの研修会をとおして基本的な方向性 や役割についての理解を深め、地域の将来を見据えた社会教育、 地域づくりの可能性を学ぶ機会とする。 講 義 「地域づくりをどう進めるか」 講 師 金沢大学名誉教授 浅野 秀重 会 場 かほく市役所
小 松	20 人	11月20日(水) 10:00～11:40	趣 旨 ファシリテーターの役割と地域課題の解決を目指し、今後の社 会教育担当職員の資質向上、またファシリテーターの手法を基礎 から学ぶ。 講 義 「ファシリテーターってなに? ～地域課題解決に向けたキー パーソン～」 講 師 金沢大学先端科学・社会共創推進機構准教授 蜂屋 大八 会 場 加賀市市民会館
中能登	19 人	11月27日(水) 14:00～15:30	趣 旨 絆を紡ぎ、人づくり・地域づくりに貢献する公民館を目指し、 これからの公民館に求められる基本的な方向性や役割についての 理解を深め、地域のまちづくりと公民館の役割について学ぶ機会 とする。 講 義 「まちづくりと公民館の役割」 講 師 金沢大学名誉教授 浅野 秀重 会 場 志賀町文化ホール
奥能登	32 人	12月11日(水) 13:30～15:00	趣 旨 地域づくりや人づくりを進めるうえで、地域が抱えるさまざま な教育課題や社会の要請に的確に対応する役割が公民館に求めら れている。このような状況を踏まえ、今後の公民館活動のあり方 について学び合い、互いに理解を深め合うことを目指す。 講 義 「公民館職員の役割について」 講 師 富山大学地域連携推進機構生涯学習部門教授 藤田 公仁子 会 場 県立生涯学習センター能登分室
合 計	95 人		

事業の評価(成果・課題)

実施形態を昨年度までのテレビ会議システムを利用した合同開催から従来の教育事務所管内別開催に改めた。アンケート結果によれば、研修自体の評価はそれぞれ高く、受講生にとって参考となったと思われる。また、参加者数は全ての教育事務所で増加したが、参加者数は当番市町から参加者が多い傾向にあり、周知方法に課題がある。来年度は、それぞれの管内のニーズに応じて当番市町が主体的に研修内容を組めるよう支援していきたい。

(5) 視聴覚セミナー

趣 旨

視聴覚教育や情報技術の動向について学ぶとともに、市町相互の連携を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

各市町教育委員会視聴覚教育担当職員及び一般県民 30名

会 場

宇宙科学博物館コスモアイル羽咋 1階研修室2

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月3日(水) 14:00～15:30	「令和」時代のコンピュータとの付き合い方	金沢工業大学工学部 情報工学科 准教授 河並 崇	20 人

事業の評価(成果・課題)

令和時代のコンピュータとの付き合い方をテーマとして、Society 5.0やSDGsを実現する、IoTやAI技術の紹介とそれらを活用するためのプログラミング教育の実践について学ぶことができた。

技術のみではなく、その技術をいかに活用するかが実務担当者にとっては重要な課題であり、その点について学ぶことができるセミナーを今後も継続していきたい。

(6) 県民映像カレッジ

趣 旨

ビデオ撮影および編集技術の習得・向上を通し、映像に親しむ生涯学習活動の推進を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

一般県民 ・A日程 12名 ・B日程 12名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数 (延べ数)
A	6月22日(土)・29日(土)・7月 6日(土)・13日(土)・20日(土) 13:30～16:00 (7/13のみ 10:00～12:00)	ビデオ撮影・編集に関する 講義、ビデオ編集実習	生涯学習センタービデオ クラブ(SVC)会員	36 人
B	9月21日(土)・28日(土)・10月 5日(土)・12日(土)・19日(土) 13:30～16:00 (10/12のみ 10:00～12:00)	〃	〃	18 人
合 計				54 人

事業の評価(成果・課題)

前年度同様多くの県民に受講の機会があるように、1期、2期とも同じ内容で実施した。
今後も、幅広い年代の方が受講しやすくなるよう工夫し、映像制作文化の発展に寄与したい。

(7)ICT活用講座

趣 旨

社会教育の推進において、情報技術の活用を積極的に取り入れ、生涯学習担当者(学校等含む)のICT技術の向上を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

教育機関(団体)広報担当職員 10名

(視聴覚教育担当者、図書館・公民館・保育園等の職員など)

会 場

石川県立生涯学習センターまなびすとルーム

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	11月12日(火) 9:30~16:30	初歩からのSNS活用講座	officeアシスタ 代表 山川 広美	7人

事業の評価(成果・課題)

現在、情報発信手段として様々なSNSが利用されており、教育機関(団体)においてもそのニーズは一層高まっている。SNS初心者が、動画のアップまでの操作方法、及び社会でのSNSの様々な利用方法を学習することにより、所属先の広報業務等でSNSが活用できるようになることを目的とし、教育機関広報担当職員を対象として講習会を行なった。

参加者からは、SNSについて基礎から学ぶことができて大変勉強になった、所属での広報に活かしたい、などと好評であった。ICTの基本的な知識と技術の習得により、このセミナーを実践に役立ててもらいたい。

(8) 令和元年度(第50回)いしかわビデオ作品コンクール

趣 旨

生涯学習の場で実際に役立つ視聴覚教材の自作活動を促進し、併せて県民の映像文化への関心と制作技術の向上を図る。

主催/共催

石川県視聴覚教育協議会／石川県教育委員会

後 援

石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、
石川県社会教育協会、石川県公民館連合会

応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

応募期間

令和元年10月1日(火)～令和2年1月31日(金)

応募規定及び賞

応募規定 ①教材部門 ・学校（幼稚園等を含む）や公民館等の生涯学習施設で教材として活用できるビデオ教材
・学校紹介ビデオ

②一般部門 ・①以外のビデオ作品

賞 各部門に最優秀賞、優秀賞、奨励賞を授与する。

また、最優秀賞には各部門に石川県教育委員会賞を、優秀賞には各部門に振り分けて石川県社会教育協会会長賞もしくは石川県公民館連合会会長賞を授与する。

審査及び授賞式

審査会 令和2年2月13日(木) 13:30～17:15

授賞式 令和2年3月7日(土) 14:00～15:30 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

審 査 員

棒田 邦夫(金沢学院大学教授)＜審査委員長＞

岡野 重和(生涯学習センタービデオクラブ幹事)

上坂 律人(石川県教育委員会生涯学習課)

平 聖一郎(石川県立生涯学習センター館長)

応募作品数

①教材部門・・・6点 ②一般部門・・・8点 計14点

審査結果及び授賞者氏名

①教材部門	
最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 鶴高 PV 2019 石川県立鶴来高等学校	最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 平泉白山神社 本保 松枝
優秀賞 及び 石川県社会教育協会会長賞 Welcome to Noto kouko 石川県立能登高等学校	優秀賞 及び 石川県公民館連合会会長賞 白山市美川おかえり祭り 小倉 健治
奨励賞 聖高祭2019 石川県立大聖寺高等学校放送部 金沢泉丘高校学校紹介2019 石川県立金沢泉丘高等学校放送部	奨励賞 月下美人の撮影に挑戦 小屋 忠男 初めてのビデオ撮影に挑戦～護国神社～ 安部 みどり トライアスロン珠洲紹介ビデオ 珠洲市トライアスロン協会

事業の評価(成果・課題)

令和元年度は、10月1日から翌年1月31日までの募集期間とし、上記点数の応募があった。

今後も、より多くの県民からご応募いただけるよう、各学校・視聴覚教育研究団体への早期の働きかけなどにより、コンクールの実施・作品募集の周知を図ることや、「県民映像カレッジ」との連携などを検討したい。

なお、受賞作品の一部は、平成27年度以降「あいあいネット」上で一般公開をしている。

(9) 視聴覚いしかわ(会報)

石川県視聴覚教育協議会の事業として、会報第16号を発行。

発行日・号数	巻頭言	巻頭言執筆者
3月25日(水) 第16号	「令和」時代のコンピュータとの付き合い方	金沢工業大学工学部 情報工学科 准教授 河並 崇

(10) 自主サークル

サークル名	活 動 内 容
生涯学習センタービデオクラブ (SVC)	毎月第2土曜日(13:30~16:00)月例会(作品鑑賞等)

Ⅱ 生涯学習センター能登分室

1 講座事業

(1) ふるさとふれあい能登校講座

趣旨

石川の歴史・文化・自然・産業等について学び、郷土に対する理解を深め、誇りと愛着をもつ。

対象・定員

一般 各40名

会場

石川県立生涯学習センター能登分室

日程

番号	日時	内容(演題)	講師	参加人数
1	5月22日(水) 13:30～15:30	「織田信長と能登」	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	28人
2	6月11日(火) 13:30～15:30	「能登の農村民俗あれこれ」	加能民俗の会代表 小林 忠雄	20人
3	8月6日(火) 13:30～15:30	「能登から世界へ、G I A H S と S D G s の取り組み」	金沢大学先端科学・社会共創推進機構 特任教授 宇野 文夫	13人
4	8月21日(水) 13:30～15:30	「江戸中期、能登を俳諧した風狂藩士」	石川県観光スペシャルガイド 藤平 朝雄	21人
5	9月10日(火) 13:30～15:30	「白山の歴史と伝説」	白山自然保護センター主任研究員 小川 弘司	18人
6	10月24日(木) 13:30～15:30	「草木染の文化史「第四章紫系の天然染料 紫染の文化史」」	日本織物文化学会会員 登美 聡	8人
7	11月6日(水) 13:30～15:30	「肝煎五左衛門と長沢村の人々ー江戸時代奥能登に暮らすー」	石川県立歴史博物館職員 濱岡 伸也	45人
合 計				153人

事業の評価(成果・課題)

能登の歴史に興味・関心がある受講生が多く、講師も期待に応えようとする姿勢がうかがえた。一方で、受講生の顔ぶれが昨年と変わらず、新鮮味に欠けるうえ、意欲的な講義内容が専門化する結果、参加者減にもつながっている。

(2) 能登文化講座

趣旨

能登の地域住民が、著名な講師による専門性の高い講話を通し、より広い人生体験や歴史・文化にふれることにより、豊かな生活を営むとともに、さらなる生涯学習への意欲喚起に活かす。併せて、「のと里山空港」の賑わい創出を図る。

対象・定員

一般 150名

会場

石川県立生涯学習センター能登分室

日程

番号	日時	内容(演題)	講師	参加人数
1	7月6日(土) 13:30～15:00	「千田嘉博 七尾城から読み解く戦国時代」	奈良大学教授(前学長) 千田 嘉博	235人

事業の評価(成果・課題)

千田氏は、城郭考古学者として有名でNHK大河ドラマの時代考証を務めておられることもあって、事前の反響が大きかった。昨年度はなかった問い合わせも多くあり、事前申込みも多かった。講演当日も参加者が、200名を越え大変好評であった。芸能人や有名人などの要望もあるが、昨年に引き続き、受講者の心に残る内容や学習意欲を高める講座内容がニーズが高いということが改めて分かった。

(3) 能登の歴史探訪講座

趣 旨

能登の歴史を学び、ゆかりの史跡や文物を訪ねて、ふるさとへの理解を深める。

対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	10月2日(水) 13:30～15:30	「能登国若山荘と珠洲焼」	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	35人
2	10月9日(水) 13:30～15:30	「能登長氏と中居鋳物」	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	34人
3	10月16日(水) 13:30～15:30	「能登畠山文化と七尾湾の景勝」 (のと里山里海ミュージアムで実施)	金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	29人
合 計				98人

事業の評価(成果・課題)

受講生からの講演要望が強い講師を招いての講座であり、七尾地区からの受講もあり盛況であった。講座内容を能登全体を視野にいたため、身近な地域の歴史に対する興味・関心が高まり、今後の学習意欲にもつながった。

(4) 古文書解読講座

趣 旨

古文書解読の知識と技能を修得し、地域の新たな歴史や文化などを発見する。

対象・定員

一般 30名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	9月5日(木) 13:30～15:30	「古文書の解読」	金沢市文化政策調査員 池田 仁子	25人
2	9月12日(木) 13:30～15:30	〃	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	24人
3	9月19日(木) 13:30～15:30	〃	加能地域史研究会会員 左古 隆	26人
4	9月26日(木) 13:30～15:30	〃	加能地域史研究会代表 木越 祐馨	27人
合 計				102人

事業の評価(成果・課題)

根強い人気のある講座であり、識見の高い各講師のおかげにより満足する声が多いものとなった。受講者も、大変熱心で知識も豊富な人が多かった。資料について様式統一や早めの提供を望む声があり、資料の事前配布の手立てを工夫する必要がある。

(5) 能登陶芸教室

趣 旨

成形・釉薬がけ・焼成などの作陶技術を習得し、陶芸作品づくりを楽しむ。

対象・定員

一般 16名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	6月4日(火) 13:30～16:30	成形	珠洲焼作家・県伝統工芸士 坂本 一郎	8人
2	6月5日(水) 13:30～16:30	〃	〃	8人
3	6月18日(火) 13:30～16:30	素焼	〃	7人
4	6月25日(火) 13:30～16:30	釉薬がけ・本焼き	〃	8人
5	7月2日(火) 13:30～16:30	鑑賞会・講評	〃	7人
合 計				38人

事業の評価(成果・課題)

複数年にわたって参加している受講生が多く、意欲はあるが新たな発想がわからないため控える傾向がある。敷居をひくくして新しい人が参加しやすい雰囲気とベテランの創造意欲を高める工夫が必要である。平日5回の実施も二の足を踏む原因である。休日実施を考えたい。

(6) あすなろ悠々塾in能登

趣 旨

生涯学習活動等をとおして得られた研究成果を生かして、講師自らが企画・運営する。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	5月30日(木) 13:30～15:00	「漆の音に耳を清ませばーうるし・うるわし・輪島お粥講の試み」	高名 由美子	6人
2	6月13日(木) 13:30～15:00	「等伯の挑戦と最強の人脈」	北原 洋子	14人
3	8月1日(木) 13:30～15:00	「趣味の骨董 九谷焼と大樋焼」	杉森 学	16人
4	8月29日(木) 13:30～15:00	「食と人と地域のつながりについて」	島田 隆雄	7人
合 計				43人

事業の評価(成果・課題)

受講者数が減少した。地域の人々の誇りや関心事をテーマに毎年新たな講師を入れていく必要がある。

(7) 能登特別映画会

趣 旨

名作映画の鑑賞をとおして、歴史・文化・精神などに親しむ。

対象・定員

一般 各40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	6月27日(木) 13:30~15:30	「深夜食堂」	45人
2	7月30日(火) 13:30~15:30	「蝉しぐれ」	49人
3	9月3日(火) 13:30~15:30	「シャレード」	41人
4	10月15日(火) 13:30~15:30	「ゼロの焦点」	44人
5	10月30日(水) 13:30~15:30	「素晴らしき哉、人生!」	26人
合 計			205人

事業の評価(成果・課題)

受講者の興味関心に配慮した作品が多かったことや、老友会からの組織的な参加があり、安定した受講者数を確保できた。日頃、大画面で映画を見る機会が少ない地域の受講者が映画に見入って感動している姿をたくさん見ることができた。上映権のこともあり、受講者のアンケートを生かした映画を選ぶことが難しい。

(8) ふるさと文化探究講座

趣 旨

DVD映像をとおして、ふるさと石川の歴史・文化・自然・偉人等について学習し、関連講座により郷土への理解と愛着を深める。

対象・定員

一般 各20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	5月31日(金) 13:30~15:00	①「金沢御堂陥落 一向一揆の最後」 ②「藩主が行く 能登巡見の道」 ③「ふるさとの手仕事 旨口の極み 能登杜氏」	19人
2	7月4日(木) 13:30~15:00	①「藩祖利家 金沢城入城」 ②「加賀百万石のいしずえ 戦国の女性たち」 ③ふるさとの手仕事 これぞ紙業 祝いのホウライ	16人
3	8月30日(金) 13:30~15:00	①「徳川か豊臣か 利家の決断」 ②「泰澄と白山信仰 白山開山」 ③「ふるさとの手仕事 豪雪に挑む 野鍛冶」	20人
4	9月20日(金) 13:30~15:00	①「百万石の母 賢夫人・お松の方」 ②「街に灯りを 森下屋」 ③「ふるさとの手仕事 城下の心意気 左官」	8人
5	10月21日(月) 13:30~15:00	①「悪女真女院 加賀騒動をめぐる女たち」 ②「耕稼春秋 土屋又三郎」 ③「ふるさとの手仕事 風土を灯す能登ちょうちん」	13人
6	11月15日(金) 13:30~15:00	①「海を渡った21句 加賀生粋の俳人・千代」 ②「八百比丘尼 能登行脚」 ③「わが街こころの風景 最先端から生まれた文化 珠洲市」	12人
合 計			88人

事業の評価(成果・課題)

郷土の歴史に興味を持つ方が多いので、必ず2本は歴史作品を入れながら、うち1本は男性が主役であとの1本を女性が主役となるものを選んだ。郷土の歴史となると前田家がほとんどで新鮮味に欠けてしまった。

(9) 輪島塗沈金教室

趣 旨

輪島塗の代表的な加飾方法である沈金の技法を体験し、各自が考案した図案をもとに沈金パネルを完成する。

対象・定員

一般 16名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	7月11日(木) 13:30~16:30	各自が考案した図案をもとに、練習用の輪島塗パネルで、沈金専用のノミを使って彫りの練習をする。	輪島塗沈金作家 前古 孝人	13人
2	7月18日(木) 13:30~16:30	パネルに下絵を写し、下絵にそってノミで彫る。彫りが終了後、彫った部分に漆をぬり金粉を入れ完成する。	〃	13人
合 計				26人

事業の評価(成果・課題)

初めのうちは沈金ノミの使い方に苦慮していたが、練習により徐々に慣れ楽しそうに活動を行っていた。金粉を入れると、想像以上にきれいに出来上がり、どの受講者もとても満足げな表情をしていた。今年度は若い受講者もあり、次年度も受講したいとの声が多くあった。

(10) 夏休み子ども科学教室

趣 旨

身近な科学の実験・工作を行う中で、自然界の隠れた面白さや不思議さに触れ、科学への興味・関心を高める契機とする。

対象・定員

4年生以上の小学生・保護者 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	参加人数
1	7月28日(日) 13:30~15:30	重さを楽しもう-浮沈子・コマづくり-	石川県立大学講師 坂尻 忠秀	11人
2	8月11日(日) 13:30~15:30	空気を楽しもう-ミニ空気砲づくり-	〃	12人
合 計				23人

事業の評価(成果・課題)

身の周りにある道具や素材により、理解困難なことを身近に感じる体験ができた講座になった。「難しく興味や好奇心が持てないために理科離れしてしまう児童生徒が多い。」と感じている講師ならではの工夫にあふれた講座であった。子どもたちは、おもしろい理科の学習にチャレンジし続けてほしい。

(11) 夏休み子ども特別映画会

趣 旨

子ども向け名作アニメの上映を通して、子どもたちの豊かな情操を育む。

対象・定員

子ども・保護者 40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	7月21日(日) 10:00~12:00	「しまじろうアニメゆうきいっぱい傑作選」「ムーミン谷の彗星」	12人
2	7月28日(日) 10:00~12:00	「日本の昔ばなし 花さか爺さん他」「忍たま乱太郎の宇宙大冒険」	27人
3	8月18日(日) 10:00~12:00	「名探偵コナン」	27人
合 計			66人

事業の評価(成果・課題)

両親、兄弟、祖父母など家族ぐるみの参加で楽しむ様子が毎回見られた。保育所・幼稚園を含め多くのチラシを配布したり、学校訪問をしたりしたが、参加者は少数となってしまった。目玉となりそうな映画の上映が難しく、工夫が必要である。

(12) 夏休み子ども陶芸教室

趣 旨

粘土で形を作り、釉薬をかけて焼き上げ、世界に一つしかない作品を手作りする体験をとおして、ものづくりの喜びを実感し、豊かな心を育む。

対象・定員

小学生・中学生・保護者 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加人数
1	7月20日(土) 13:30~16:30	成形・素焼き	石川県立輪島高等学校教頭 井上 正浩	19人
2	8月3日(土) 13:30~16:30	釉薬がけ・本焼き	〃	20人
3	8月12日(月) 13:30~16:30	鑑 賞 会	〃	19人
合 計				58人

事業の評価(成果・課題)

受付開始から短期間で定員に達してしまい、人気講座であることを示している。講師は子どもたちの創作意欲を上手に引き出し、保護者の求めにも丁寧に対応していた。幼い子どもも多かったが、理解力、意欲のある子が多かった。

2 他の機関・団体との共催講座

(1) フランス料理教室

趣 旨

オーナーシェフの指導によるフランス料理を実際につくり、楽しく試食します。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般 16名

会 場

ラトリエ・ドゥ・ノト（講師の店）

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	9月4日(水) 10:00～13:00	家庭のできるフランス料理	ラトリエ・ドゥ・ノト オーナーシェフ 池端 隼也	16人

事業の評価(成果・課題)

講師から丁寧な説明を受けたので、調理方法は理解できたが、実際の調理体験ができず、残念に思う受講者もいた。しかし、店を休みにして従業員総出で教えていただき感謝して余りある講座となった。

(2) 大人の料理教室

趣 旨

秋の食材を生かした手軽な料理作りを楽しみ、地域の食文化や健康食についての理解を深める講座。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

石川県社会教育協会

対象・定員

一般 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	10月5日(土) 10:00～13:00	秋をまるごと 旬の食材で	地域活動栄養士 沖崎 美子	19人

事業の評価(成果・課題)

受講者はすぐにうちとけて楽しい雰囲気の中、協力しながら、手際よく調理を行っていた。野菜が盛りだくさんで旬の食材がいっぱいの料理を前に、食事時間も楽しく過ごしていた。会場準備や進め方について、講師との打ち合わせ時間を十分確保する必要がある。

(3) サンドブラスト体験教室

趣 旨

のと里山空港のマスコットキャラクター「スカイのっぴー」の月毎に替わる季節の図柄をガラスコップに彫刻し、物作りの喜びを実感し、併せて空港に親しむ。

主 催

石川県立生涯学習センター

共 催

のと里山空港賑わい創出実行委員会

対象・定員

一般 各50名

会 場

のと里山空港 能登の旅情報センター前

日 程

番号	日 時	内 容 (題 材)	参加人数	備 考
1	4月14日(日)	お花見のっぴー	46 人	
2	5月12日(日)	のっぴーと鯉のぼり	76 人	
3	6月 9日(日)	のっぴーと雨宿り	80 人	
4	7月 7日(日)	のっぴーと天の川	600 人	2階ロビーで実施
5	7月14日(日)	のっぴーと天の川	104 人	
6	8月11日(日)	のっぴーと海水浴	168 人	
7	9月 8日(日)	お月見のっぴー	48 人	
8	10月 1日(火)	のっぴー空の運動会(穴水小学校遠足)	30 人	
9	11月10日(日)	のっぴーモミジ狩り	76 人	
10	12月 8日(日)	のっぴーサンタ	38 人	
11	12月22日(日)	12ヶ月自由図柄	508 人	作業室で実施
12	1月12日(日)	のっぴーのお正月	70 人	
13	2月 9日(日)	のっぴーと雪だるま	116 人	
14	3月 8日(日)	のっぴーひな祭り	— 人	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止
合 計			1,960 人	

※実施日は、毎月第2日曜日、7/7開港記念日、12/22クリスマスイベント開催日

時間帯は、10:00~12:00、13:00~15:00

事業の評価(成果・課題)

家族揃っての参加も多く、旅行者の参加もみられた。のと里山空港の賑わい創出と活性化に寄与する行事となっている。イベント開催日以外の参加者数が減少していたが、地域の小学校の遠足などにより新たな参加者が増えた。

3 能登分室利用状況

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	29	36	67	62	80	78	58	69	73	52	38	51	40	704	
	30	23	69	55	81	68	54	63	77	49	26	48	57	670	
	元	31	66	54	73	67	60	60	74	71	30	28	11	625	
人数	29	781	1,553	1,671	3,629	1,847	1,280	3,673	1,843	5,643	670	1,216	1,044	24,850	
	30	589	1,604	1,160	4,016	1,877	1,152	1,664	1,577	4,532	513	1,075	1,244	21,003	
	元	714	1,587	1,181	3,239	1,696	1,171	1,477	1,454	5,019	451	612	155	18,756	
1日平均	件数	29	1.2	2.2	2.1	2.6	2.5	1.9	2.2	2.4	1.9	1.4	1.8	1.3	2.0
		30	0.8	2.2	1.8	2.6	2.2	1.8	2.0	2.6	1.8	0.9	1.7	1.8	1.9
		元	1.0	2.1	1.8	2.4	2.2	2.0	1.9	2.5	2.5	1.1	1.0	0.4	1.7
	人数	29	26.0	50.1	55.7	117.1	59.6	42.7	118.5	61.4	201.5	23.9	43.4	33.7	69.0
		30	19.6	51.7	38.7	129.5	60.5	38.4	53.7	52.6	161.9	18.3	37.1	40.1	58.5
		元	23.8	51.2	39.4	104.5	54.7	39.0	47.6	48.5	179.3	16.1	21.9	5.0	52.2

- ・ 平成15年5月6日開設
- ・ 令和元年度の利用状況(開館日数 360日)
 - ・ 利用件数 625件 対前年比 93.3% (平成30年度 670)
 - ・ 利用人数18,756人 対前年比 89.3% (平成30年度 21,003人)

令和元年度
事業報告書

令和2年5月20日発行

編集・発行 石川県立生涯学習センター

〒920-0935

金沢市石引4丁目17番1号

石川県本多の森庁舎

TEL 076(223)9571 (代表)

FAX 076(223)9585

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>



PC・スマートフォン用